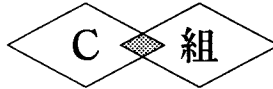


『班別調査活動報告』



研究テーマ

- 異国の文化にふれてみよう 1 班 207～210
- 国際文化交流・
 - 東西文化交流の接触と変容 2 班 211～218
- 商店街の震災での被害と
 - 現在の復興状況を探る 3 班 219～222
- 商店街について 4 班 223～234
- 阪神大震災時の報道機関の働き 5 班 235～242
- 震災のつめあとを知る 6 班 243～254
- 神戸、震災の跡を知る 7 班 255～262
- 明石焼とは? 8 班 263～270
- 神戸のたこ焼 9 班 271～278
- 埋め立て地利用について 10 班 279～286
- 商業を中心とした一般と
 - 大企業の復興の様子 11 班 287～294

* 2年C組・1班 *

◎ 青山絃子 ◎ 藤田麻奈美 ◎ 塚田真奈

* 研究テーマ *

異国の文化にふれてみよう

《テーマ設定の理由》

「神戸で調査活動をする」と聞いた時に、「神戸」といえば、「貿易」、「貿易」といえば、「異国」、「異国」といえば、「異人館」という様に連想して、異人館について、調べてみたくなったから、

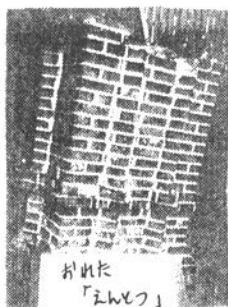
《研究のねらい》

- ・異人館が建てられた時代は、いつごろか？
- ・どんな国の人が異人館を建てたのか？
- ・異人館は、地震によって、どんな被害を受けたのか？
などを調べたい。

《研究結果》

1 ↑ 萌黄の館

神戸のアメリカ総領事となった「ハンター・シャープ氏」邸宅で、明治36年に建てられた、下見板張りの異人館です。見どころは、外観では、西側の正門を入ったところからのながめで、左右に異なった意匠のほりだし窓があります。中央には、赤レンガでできたえんとつがあり、全体的に見ると構成になっています。



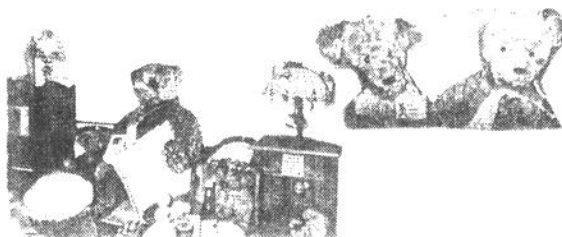
おれた
「えんじつ」

左の写真は、地震の時に、折れて屋根から落ち、地面につきささった「えんじつ」です。屋根の上にもう体あった えんじつは、天井をつきぬけて、館の中に落ちていたそうです。その部屋は、立入禁止になっていました。

2 テディバア博物館



大正時代に建てられた、旧シャラフティン邸。ほんの数センチの小さなテディバアから 2メートルぐらいの大きな物まで、さまざまなバアも展示してあります。地震の被害は、とくにない様でした。



3 香りの家 オランダ館

昭和初期に建てられた木造 2階建ての建物です。ドイツ壁と呼ばれる外壁や、モルタル壁のえんじつは、当時のままを残してあるそうです。

春・夏・秋・冬、季節を告げる約150種類のハーブたち。



カモミール 1490



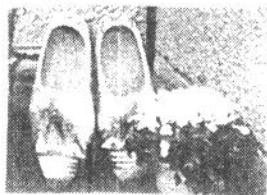
ランタナ 1090



タイム 1090



ミント 1090



4 ハーブ園

「市引ハーブ園」のいろいろなゾーンや施設は、ハーブを知り楽しむための、きめ細かい工夫がされています。

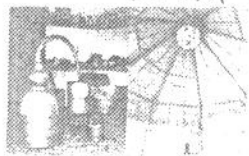
約150種・7万5000株のハーブに囲まれ、「こころ」と「からだ」をリフレッシュされることかができます。



- 展望広場 ... ヨーロッパの古城をおもむく建物。ここでは神戸の市街地や大阪湾、六甲の山並など、変化に富んだ素晴らしい景色を体験することかできます。



- 展望レストラン ... おいしさに定評がある神戸の木、牛肉、ワインにハーブスパイスをきかせた料理が味わえるレストラン。ハーブガーデン。またショップにはハーブを使った手作りのオリジナルグッズがいっぱい!



- 森のホール ... 1階は香りの資料館。2階はコンサートなどが開催されるホール。香りの事をもって知りたい。自然の中で音楽にふれたい。などなどそんな人の気持ちを満たしてくれる森のホール。



- 見本園 ... 約70種類のハーブの利用がひと目で分かる様に工夫された見本園。料理用、薬用、芳香用... と6つのテーマに分けてハーブを紹介。図鑑で見るより実体験してみても?



- ガラスハウス ... スパイス工房、香りの温室、ハーブの家など、ハーブと人のつながりを体験出来るガラスハウス。ガラス張りのドームは4つあります。

● 香りの庭園



●ブルーガーデン
●ラベンダー園
●香りの芝生

四季おりおりに彩られる「ブルーガーデン」をはじめ、上品な香りが広がる「ラベンダー園」、木橋の香りがさわやかな「香りの芝生」、「三滝レスト」など、ハブをながめながら散策できる庭園です。

（まとめ）

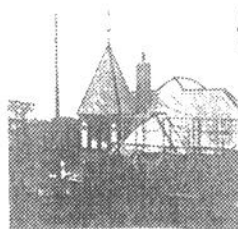
この異人館も昭和以前に建てられた物だった。建てた人は、いろいろな他国の人がたが、私たちが見た中では、「アメリカ」が多かった。地震でうけた被害は、さまざまだったが、異人館の名物である「風見鶏の館」が一番ひどい被害をうけた様子。

（感想）

いろいろな異人館を調べたのはいいが、早く集合場所にすぎぎてしまって、ムダな時間をすごしてしまった。もっとキチンと計画を立てておくべきだったとはげしくこうかいした。



おまけのコーナー!!



◀ 左の写真は、建て直し中の「風見鶏の館」です。今は、あるていど直っていますが、地震直後は、もっとひどい状態でした。

②組 ②班 酒井理恵 高田祐紀代
山根あさみ

《テーマ》

国際文化交流・東西文化交流の接触と変容

《テーマ設定の理由》

神戸は、昔から国際港として発展してきた。そして、今もその面影を残している。どういういきさつで、どのように発展したのか。そして、それらが神戸に与えた影響を調べたかったから。また、昔から息づいている文化は、年々変化している。そして、震災によってもそれらの文化が変化したのではないかと思ったので、変化していく文化についても調べようと思ったから。

《研究のねらい》

神戸の今までの文化交流、これからの文化交流の在り方を明確にする。また、震災の被害・影響、その地域に与えられた問題点、何がわかることは、神戸がいかに発展し、震災がいかに変ぼうしたかを考える。

《調査内容》

震災の影響——被害や復興の仕方

文化について——今までの歴史、交流の仕方、影響（中国との交流）
歴史的な建築物

《調査場所》

① 南京町商店街振興組合……副会長様、事務局長様

② 神戸市立博物館……田井様

③ ポリサ、シュウエケ郎（異人館）

協力：三井ホーム……和田様

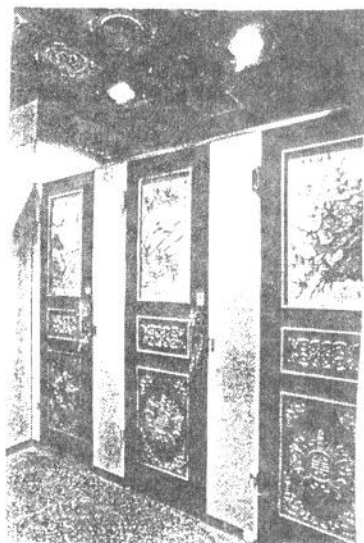
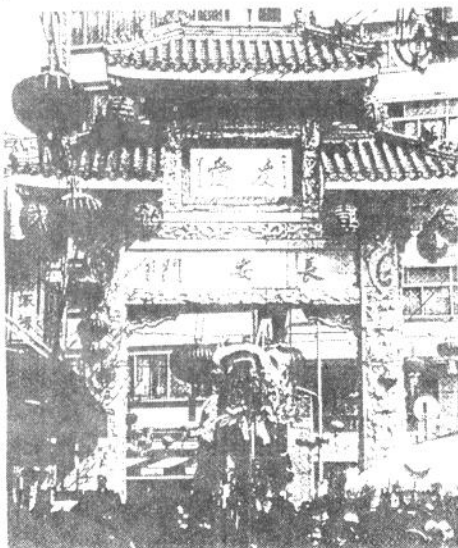
《調査結果》

南京町商店街振興組合

◎南京町の誕生—誕生は明治元年、神戸港開港の年といわれる。その頃、外国人居留地が海岸一帯に設けられていたが、当時清国が日本と非条約国であったため、中国人は居留地に住むことが出来ず、元町の南に住居を構えた。以来、この町が中国人の町のようになったことから、南京町と呼ばれるようになった。その時、中国人はろつ刀“三把刀”(さんばあたお)を持ち込み、それ中心にやってきた。それは料理、仕立て、理髪であり、中国人の特技だった。

その後、明治、大昭はにぎやかだったが、昭和20年に、空襲で打撃を受け、姿を消した。しかし、昭和52年に「復活させよう!」と立ち上がり、プランを立てた。そして、56年から実行された。

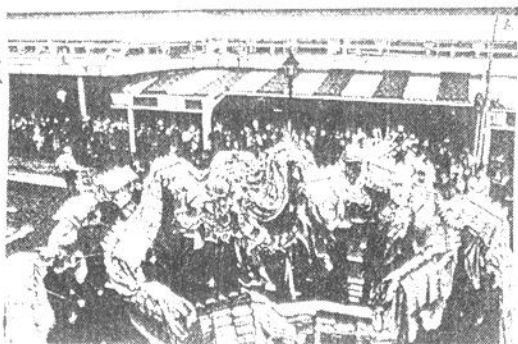
昭和52年より、立てられたプランの一部である。長安門



中国風の豪華な市民トイレ
「日本トイレ協会」より感謝状を
うけた。

⑧春節祭——昭和60年に初めて開催。旧正月の日付けで、正月を祝う。催し物として、日本一大きい(長さ40m)龍踊り・しし舞、少林寺拳法・大極拳・八極拳など、さまざまなおアトラクションを盛大に行う。近年では、全国各地から来街し、今年は48万人にもなった。

この春節祭では、南京町の人達は「町を盛り上げよう」と一致団結する。この祭によって協力がとれている。



春節祭でのアトラクションの様子

⑨震災の影響

南京町は、比較的被害が少なく、復興が早く進んだといわれているが、それには理由があった。

①区画整備後、間がなかった。

区画
整備
の
理由

南京町は、古かったため年代に対応できなくなったので、道を広げたり、建物を新しくした後に震災が起きた。区画整備が遅れた長田区、東難区では99%も全壊した。

②春節祭が近かった。

春節祭が近いということで、料理の材料やプロパンガスを準備していた。震災で、ガスや水道が全てとまってしまったが、準備していたプロパンガスや食料によって復興が早く進んだ。

③組合員同士の協力がとれていた。

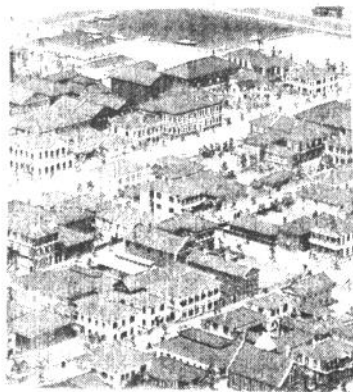
震災後すぐの1月25日に、南京街で組合員などが集まって会議が行われた。そこで自分達には何かできるかを話し合い、その結果「みんなを元気づけよう」ということになった。そして、1月31日に、たき出しが行われた。そこで、義援金回収では43万円もの善意が集まった。

早く復興できた一番の理由は、会議でみんなの意志確認ができたということだった。現在、今だに未復旧店が工軒あるものの、店舗数は12店舗、組合員は8名増加して、にぎわいをみせている。

これからの事業は、もっと広くすることやイベントを大きくすることだそうで、今年から長江との交流も始まった。これからますます発展していく町だ。

神戸市立博物館

☆外国人居留地の模型☆



元町・旧居留地



この博物館のある元町周辺は明治時代、開港と同時に神戸に移り住んだ外国人の居住・貿易の場(外国人居留地)として盛っていた。

だからアメリカン・コロネーション様式、コロニアルスタイルの木造建築物などの外国の建築技術で造られた建物の建ち並んでいる。まるで異国へ迷い込んだようなエキゾチックなムードの街並だ。

イギリス系の兵庫ガス商会によって1874年に居留地内に初めて街灯としてガス灯が設置されました。



居留地の設計はイギリス人土木技師J. W. ハートが行ったこともあり、ロンドン製のガス灯が使われました。

ガス灯は光が青白くこの光の色は民衆に好まれました。また電灯に比べて料金が安かったのです。

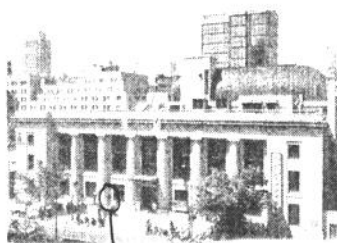
下の写真は神戸市立博物館だ。昭和10年に建てられた横浜正金銀行神戸支店を利用して、内部は博物館展示にふさわしく改装されたが外観は建築当時と変わらないようだ。正面に6本のギリシヤ様式の半円柱が連なり側面にも壁柱があって、外装は全厚立御影石を使用した重厚な造りの歴史を感じさせる建物なのだ。

※このガス灯の他にもスチレンな電話BOXとかオヤシな建物が、いまだに...

※左上の外国人居留地だった頃の建築物が残っているのは...という下の図を見て下さい



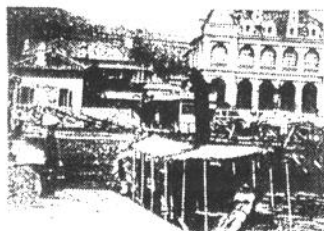
☆旧外国人居留地周辺の地図☆



これがフロントイ象です!! たが今金同がハゲたのでぬりかえ中だ! そうです。(見れなかつた → 残念念)



前ページの地図に載ってた中跡の一部を紹介するよ!



① メリケン波止場

↑荷物を揚げ下ろする所

←これは開港してから40年ぐらいたった頃
1987年に開港20年を記念してこのメリケン波止場
と中突堤の間が埋め立てられメリケンパーク
が誕生しました!!

↓
〔港の見える美しい公園〕



② 15番館

1881年ごろに建った木骨レンガ造り 2階建ての
西洋風の建物。

旧居留地内に、旧居留地時代に建った建物は、
この15番館だけだったので国の重要文化財に指定された。

But 震災でこわれてしまったので、もう一度
復元する工事をしている。

神戸市立博物館の震災の被害は??

神戸市立博物館は横浜正金銀行だった部分と、その
建物に増築してあった部分とが別々ゆれ、そのつなぎ目
がわれてしまった。液状化現象で、そのわれ目から水が
入ってきた。今では、つなぎ目は金属板でつなぎとめられて
いた。

提示物の被害はそれほど多くはなかったらしい。
けれどケースのガラスが割れてしまったり、つぼが
たおれてわけてしまったりした。けれどわれたつぼは
われたまま、きちんと博物館に保存しているそうだ。
博物館として震災が起きるなんて全然思っていなかった
ので提示物は、ケースに置いてあるだけだった。
けれどこの震災で、止め金などで固定したり、配置
を考えたケースが倒れないようケースの下に重りをつ
けたりして、いろいろ工夫してから再オープンしている
そうだ。福井の美術館や博物館は、震災対策は
しっかりしているのか疑問だ。



止め金で
固定

シャケット
を重り
で固定



由緒あるこの博物館の被害が少なく、よかった。外観も内装も
被害はなかった。やはり昭和の名建築といわれるだけあって立派なつくり
になっているんだなあと思った。

<異人館修復について>

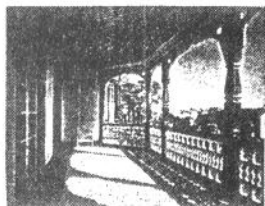
(おらい) 神戸のシンボル「異人館」の修復の様子と過程を詳しく知ることによって、震災後の復興の様子を探る。又、世界における日本の建築技術の高さ、建築技術に関して、震災を経て分かった問題、その対策をきき、未来の神戸を考える材料とする。

(事前調査内容)

三井ホームについて — 昭和49年10月11日に設立。リーバイスという建築技術の日本の最高峰である。
・神戸の代表的な異人館「ジュウエー館」の震災後の修復を手おける。

ホリサ邸修復について —
・1月の震災後、2月後の3月より修復工事が始まり、11月23日にオープン。

ホリサ邸について — 木造2階建、延床100坪、七割葺葺り。ビクトリアンスタイルを基調としたバルコニーのイタリヤ風など、様々な様式が取り入れられた異人館を代表する建物

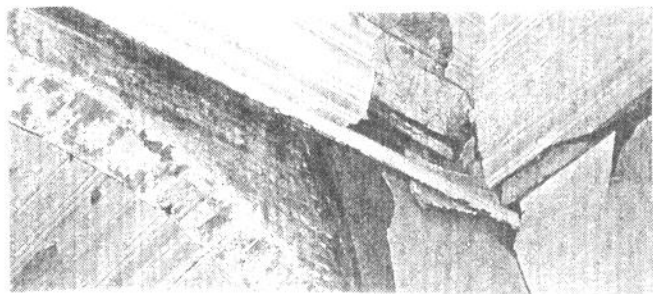


(調査したい事)

- ・ホリサ邸修復について
- ・阪神大震災について — ① この地震でうきぼりにした問題点
- ② その対策



(調査結果) 修復工事の目的 ⇒ 耐震補強
現状復元



← 震災における
おかれた天井部分

シウエグ邸の特徴 — 1896年竣工、築100年。英国人建築家ハンセンの自宅として建つられ、ビクトリアン・スタイルが基調だが、和洋混在が特徴



被災状況

(外部) 大梁突と屋根瓦の落下により2F浴室大破、外壁の下見板、胴出も所々破壊
(内部) 壁、天井のしゅうい(石膏)がはがれ所々落下
★ 基石礎、土台は安定、構造物も壊れていない。被害は少ない。

修復費用

約1億2500万円

特に難航を究めた事

- 壁、天井の装飾部材の石膏仕上げ工事。日本の技術者が極端に少ないため、英国から5名の専門技術者を呼んだ
- 設計図が残ってなかったのだからからせる事になり、とても時間がかかった。



<阪神大震災について>

① この地震でうきほりにあった問題点

- 国の対応の遅さ → 救援物資など、対応が早ければ被害はもっと大きくならなかったはず
- 修復技術者のストークと共に職人の確保も、今の日本には不足している → 修復工事がとどおる。

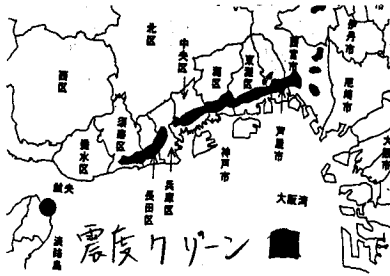
又、区画整備が進んでいた所では、建物も新しく被害が少ない一方、遅い所では、建物の建て替えなども規定される前に建てられ、密集、2次災害をひきおこされた。

② 対策

- 災害対策体制の見直しと改善
- 日常の備え
- 今の建築水準はとて高いので新しい家については問題ないが古い家については補強工事等を行う
- 区画整備を進める。

★ 又、この震災で文化財指定を受けているものとかうてないものとの格差の差なども問題にきた。

修復の



被害の大きさ、被災地区などの区画整理、備の整っていないなど、災害による被害

死者	5,502名	文芸施設	766箇所
行方不明者	2名	道路	9,403箇所
負傷者	25,008名	橋梁	320箇所
避難者	14,679名	河川	427箇所
計	41,648名	崖くずれ	367箇所
		ブロック塀等	1,385箇所
全壊	101,233棟	水道断水	1,277,300戸
半壊	107,269棟	ガス供給停止	703,345戸
一部壊損	※1 182,190棟	停電	1,048,801戸
合計	390,692棟	電話不通	286,231回線

表お三井ホームの技術の高さ、ひいては日本の建築水準の高さが伺われる。今回の地震は「先進国日本の暑かにかくれて見えなかった様々な問題を教

神戸市の被害状況

被害の主たる原因 建物の被害規模	(1)強震のみによる被害	(2)地盤崩壊・地割れによる被害	(3)液状化による被害	(4)隣家の倒れ割れによる被害	(5)その他	計
全壊	—	—	—	—	—	0
半壊	—	—	—	—	—	0
一部壊損	2	8	4	7	0	21
多少被害	0	63	26	21	1,201	1,311
被害なし	—	—	—	—	2,236	2,236
合計	2	71	30	28	3,437	3,568

《感想》

神戸の異国文化接触の歴史と変遷、そしてその交流の賜物である数多くの貴重な資料が今回の地震で数多くの失われたことを知り、今回の地震の被害状況を調べた事によって、日常では気付かないような問題、人のあたたかさ、みにくさなど、壊れたもの、失われたものも多かった分得られたものもとても大きかったことを肌で感じる事ができた。

私達が道に迷って、約束の時間に遅れてしまったにも関わらず、短い時間ながら南京町の方のたくましさを一生涯懸命に話して下さった南京町商店街振興組合の皆様、約束した磯部様の代わりに急ながらも、私達に神戸の歴史を分かりやすく説明、さらに資料まで下さった田井様、わざわざジュウエケ邸まで連れて行って下さった、また、素晴らしい資料とお話を下さった所長代理の和田様、建築士の和田様

本当にありがとうございました。

C組 3班・班長 茂原 健夫
 ・副班長 富士 真
 ・地図 池田 雅史
 ・交通 野条 泰永

① テーマ
 『商店街の震災での被害と現在の復興状況を探る』

② テーマ設定の理由

- ◎ 震災での被害とそれからの復興の様子を調査したいと思ったから。
- ・ 福井の商店街はあまり活発でないが、神戸の商店街はどんなものなのか調べたい
- ・ コビッドやパート百貨店などの影響を調査したい。
- ・ 商店街の組織(震災時名刺)を調べたい。

③ 研究のねらい

- ◎ 震災での商店街への影響と、それからの対策を見なおし。
- ・ 伝統は守られているか、後継ぎ問題。
- ・ 福井との違い、町の人々の様子。

4 研究・調査内容・調査場所

・ 鷹取商店街とその周辺の街の様子

野田北部自治連合会 福岡様

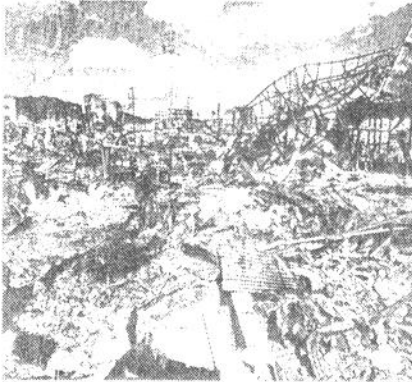
・ 三宮センター街と三宮の街の復興の様子

三宮センター街の皆様
(パン屋, 洋服屋, 蒲戸物屋, 宝石店 etc)

5 研究・調査結果

鷹取 一日も早い生活の再建と神戸の復興に向けて

◎ 商店街は全て焼けたうえに、買い物客が全然いなくなて、売り上げが激減し、商売をやめる人が、どんどん増えていた。今も駅前以外は店が少ない。



鷹取商店街跡

店舗数は70軒。商店街の中央には、幅8メートル、長さ100メートルにわたって白い日よけテントが設けられていた。(神戸市長田区で、2月3日撮影)

・ 海運町(鷹取駅周辺の町)ではほとんどの家が焼けてしまい、多くの鷹取中学校は避難者が、最高の数を記録した。

・ 現在でも、甚く多くの空地があり、家を建設しているが、その家の数は、車が通れるために道路

に家の空き地が、とられてしまい、家が震災前の2分の1に激減。家がなくなるため、多く建つために、せめて、三階建ての家が、数多くたつらば、震災を十分考えた家とはいえない状況で。

では、完全復旧は、5年以上かかるのではないか。



震災前



震災後

震災後は、元々車の
通れなかつた道が広
くなることに決まり、
そのため、それまであ
た家がけずられて、
道路がここにたてら
れた。(左の図参照)

三宮商店街

服屋にインタビュー

- ・アケードや店の屋根がこわれた
- ・おた工事をしてる所が、ビルなどのひびが残っている
- ・レシや服などがやぶられたり、こわれたりした。服など使える物や使えない物に分けた。

パン屋にインタビュー

パンはすべてくずれてくちやくちやくなり、ダメになった
震災の朝近所の入店者がパンなどをくさいと行列になり
みんなにパンを分け合う。

震災後はつり上げダウン、機械などがすべてこわれた

こゆいた地面などおてキレトして3月1日には店を開けた。

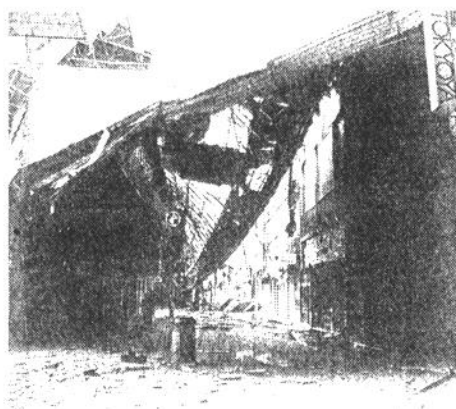
ちゃん屋に入タビュー。

この店は震災後に作られたけど本店がつぶれた。

ちゃん人が下におちてすぐてゆいた。

いろんちちゃん人のメーカーなどと扱かしち夫。

震災が終つた後みんなは第一にちゃん人をかいた。



三宮センター街一丁目

1946年にオープン、250メートルの商店街には22店舗があった(神戸市中央区、1月17日撮影)

左写真の三宮センター街1丁目は、アーケードがこゆゆるなど、多く人被害をうけたが、三宮センター街の中で、一番最初にOpenしてすばらしいたちなかりを見せた。

⑥考察、感想、今後の課題

・今回の調査活動では、現場を実際に見て、震災の形跡を確かめた。しかし、何も自分達が出来ることを見つけていけなかつたことが残念だった。

・今はだんだん建物が復興して街元きゆりになってきているが、人々の心の傷を考ていきたい。

① 組 4 班 班長 木 瑠 依 副班長 山本 齊
大石 香織 土田 貴史 野尻 千晶

② テーマ 商店街について

③ テーマ設定の理由 どうしても福井の商店街はあまり活発ではないので都会的な神戸の商店街に興味があり、違いなどを調べたいと思った。又大震災という大きな痛手の中で商店街はどのようになっているのか矢張りたかった。又、コンビニやショッピングセンターなどの影響なども調べてみたい。

④ 研究のねらい

調査活働の目的

- ・震災の影響 → 復興への道のり(これからの商店街)。
- ・伝統(昔からの伝統)
- ・現状では、コンビニやショッピングなどがどうしても目立ってしまっていてそれについての影響。
- ・お客の年齢層・客数など

⑤ 研究・調査内容

- ① 鷹取商店街と三宮センター街での震災の影響。
- ② 震災前と震災後の売り上げの違い。
- ③ 周辺の木義子。
- ④ 仮設で営業している店での問題点。
- ⑤ 影響(震災)があった所の共通点。
- ⑥ 震災前と震災後のお客の数。
- ⑦ 仮設住宅に住む人々の声。
- ⑧ 福井に起きた時の(地震)対応策。
- ⑨ 日ごろからの注意点。

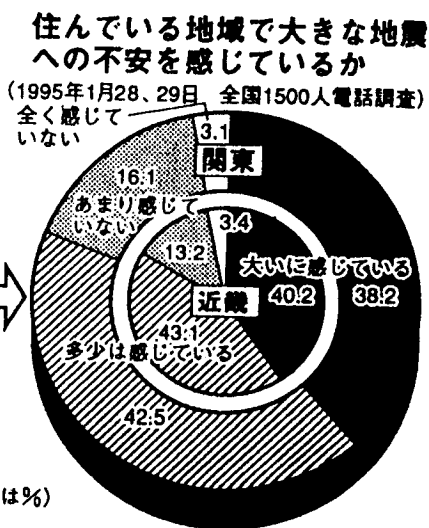
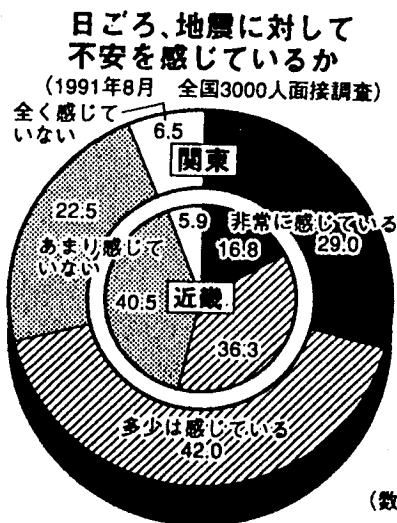
* 都合により震災以外の事は調査できなかった。

① 研究・調査場所

- 野田北部自治連合会・鷹取商店街
会長-浅山三郎 兼 担当-福田道夫 兼
- 三宮センター街
- 開きこみ調査 -
・パン屋・洋服屋・釣具屋・馬主車場(二本)
・宝石店・クリーニング屋

② 研究・調査結果

まず、日頃の人々の地震に対する見いをアンケートで見てもらった。



上の図を見てもらえば、すぐわかるが、次の通りにもよめる。

- ・1991年8月では近畿地方はほとんどの人々が不安を感じて

いなく、地震に関心を持っていなかったといえる。
それに対して関東地方では、過去に「関東大震災」
が起こっているせいも、「不安を感じていない」という人は
少ない。 ↓ ④④④

- 1995年1月28、29日では近畿地方ではまさかの
大震災が起こり、「不安に感じている」という人が左倒
的に多くなっている。
それに対して関東地方に住む人々も不安感がま
す高まった。

質問ありますよ!



④A …… 私達

④B …… 担当の方
(話を下さった方)

POINT 1: 鷹取商店街

④A ② 震災での影響を教えてください。

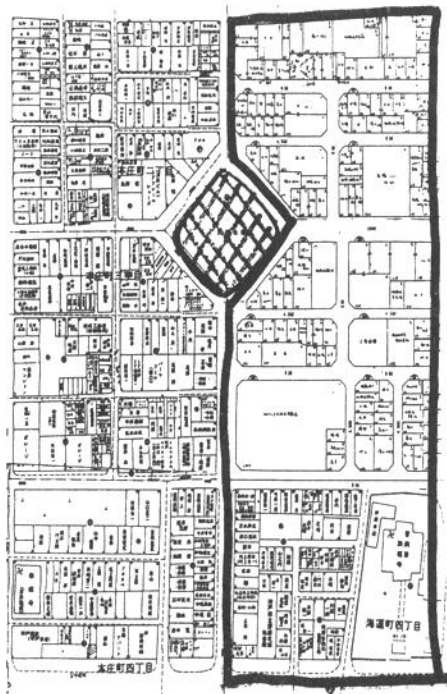
④B ② 震災後に区画整備をする。

→。車が入れない道路は人から土地を寄付して
もらい、大きい道路にする。

その影響でたくさん建ってた家が減少する。

震災時、地震で屋根から瓦が落ちていて、火が移り
りやすくなっていった。(瓦の下は木で乾いていたから)

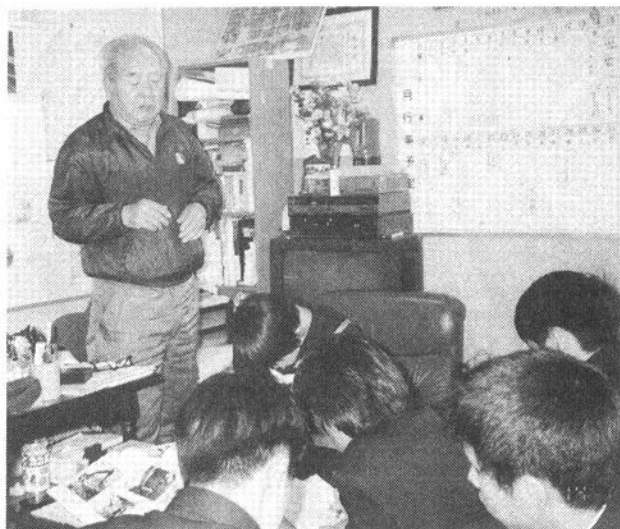
次の鷹取地区の地図を見てもらいたい。 →



この地図の中心部Bにある大田公園(⬢)から右の地域は(太い線で囲まれた所)すべて全焼した。死者は41名。

被害の中には、2階建ての家がつぶれて1階建てになり、2階にいた人は助かり、1階にいた人は死亡したケースもあったようだ。

⇩
このような悲惨な事実より新しく建て直された家は互は使わず、柱も地震に強いものにし、なるべく軽い家の造りとなった。



① 今残っている商店街の通りはたつた1つだけ。馬車の線路がガタになって、交通まひになった。そのため、何時でもかきかえて歩き、神戸に食料を頼みに行った。

② 震災から2年たった今でも、家が5.6軒しか建っていない。

い。(地図右)なのですべてが元通りになるまで5年以上かかる。

① 学園都市 → 仮設住宅が建っている町の事。

この都市の中心部には、土地が乏しいため、
おと中心部から離れた森の中にしかない。

私達のお話の担当をして下さった木村さんも学園都市に住んでいる。

② 仮設住宅に住む人々の声

嫌になる

早く帰りたい

さみしい

仮設住宅に一人で住んでいるお年寄りの死因の
半分が孤独感が増えられなくなって死んでしまった。



さびしそうにしている2人

不安を隠せない住民の木養子

① Q もし木富井にこのような地震が起きたらどのように対応したらいいですか？

② A ① まず第一に必要なのは誰かがリーダーシップをとって、確実な指示を出すこと。そしてショックでパニックを起こしている人々を正確に誘導してあげないと、うろたえているだけで被害が大きくなる。
だから、地震が起きたときに大切なのは、

① 誰かがリーダーシップをとる。

② 確実な指示を出す。

③ パニックを起こしている人々に安心感をあたえ、誘導する。

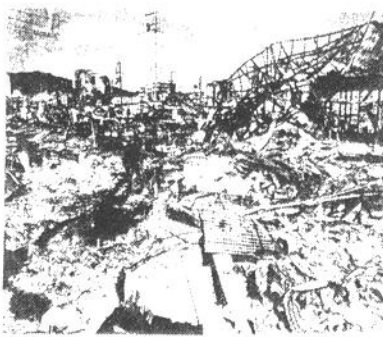
鷹取の住民は地震が起きた時にまず大園公園に避難した。しかし、そこが危ないという事で鷹取馬場広場に移動。そして最終的に安全な鷹取中学校に避難した。

(※) このように、より安全な場所へと思い、適確な判断ができた。鷹取の役員の方々はすごいと思う。

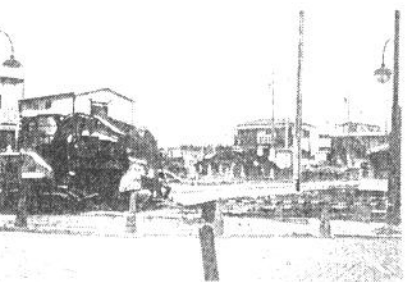
しかし、すべての役員の人達に任せていれば大丈夫なんて思ってはだめ!! この日は鷹取の役員の人達が冷静に確実な指示をだしたから、できた行動であり、人は突然の災害となるとパニックを起こし、冷静に判断する事が不可能になる。そうならないためにも日頃からちゃんとした対処するものを考えておく必要がある。例えば、

- ① 避難場所への道の確認をする。
- ② 家族会議などを開き、地震が起きた時はどこに集まるとか誰が火の元栓を切るかなどを決めておく。
- ③ 避難袋などを用意しておき、すぐに持って逃げられるようにする。
- ④ 夜に起こった事を考えて、懐中電灯やライター、マッチなどのある場所を正確にしておく。





2年たった
→ヘラは
。



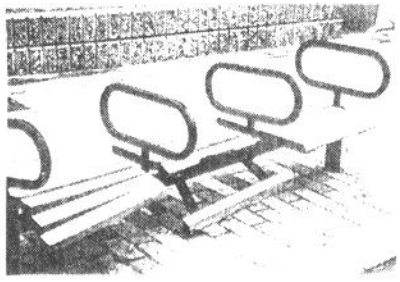
▲ H7.2.3撮影
鷹取商店街跡
(幅8m,長さ100mの白い目だけ)
テントが糸売っていた。

▲ H9.3.14撮影
工事はまだまだが続きそう。

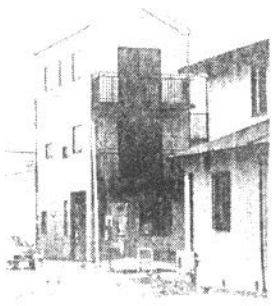
写真紹介 ~鷹取商店街~



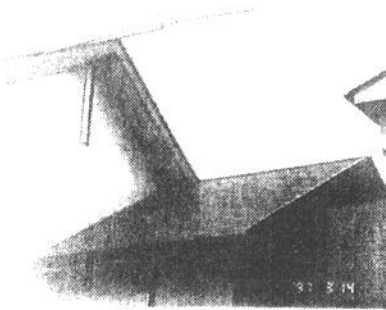
▲
「がんばるじはつふれん!
カツヤ KOBE」のジャンパー
とともにファイトしている
福田さん。



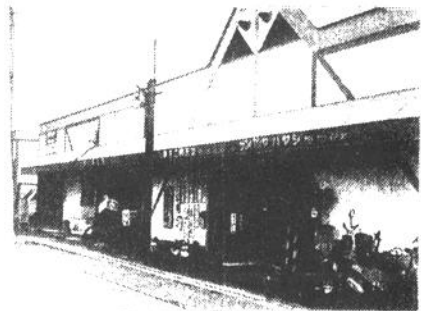
●
ベンチ
地震の影響でこわれた



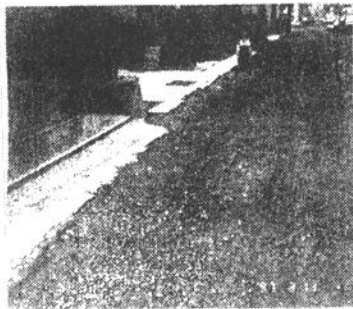
●
地震の影響で土地
がせまくなり、たて長
の家の造りになる。



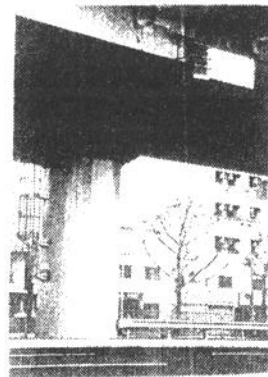
互いの家



仮設住宅の店



地割れが起こり、その後いり道となった



今更たい柱がちやんと建っているが地震の影響で二つにわかれた

WARP



あとおたすねします



POINT 2: 三宮センター街

町角インタビュー !!

- Q1 震災の影響を教えてください。
- Q2 震災前・後の売り上げの違いを教えてください。
- Q3 周辺の本業子を教えてください。
- Q4 仮設住宅で営業している店の問題点。
- Q5 震災前・後のお客の数を教えてください。

① ハン屋

ハン屋は「ちやぐちや」になり、すべてだめになった。
ジュースなども下に落ちていた。

なにものもだめになり、できていただめになったパン
や下に落ちてしまったパンなどは通行人の人達に
食べてもらった。(みんなで分け合った)

すべての機械もパーになり、パンが作れないので
売り上げ DOWN …… すべての壊れた道を機械を復
興され、ようやく 3/1 に OPEN!

② 洋服屋

洋服屋の前に建っている銀行がつぶれた。

隣の店はつぶれて、今は仮設住宅で営業している。

7階建てのビルはつぶれはしなかったが、倒れかけた。

中はがたがただった。

③ 釣り具屋

隣のビルが建て直し作業をしているので、直るまで仮設住宅で営業しないといけない。完全に直には夏までかかる。1人も買ってくれないから、2年半商売してない。ただ来てるだけ。

④ 馬主車場

最悪なのは中の木幾枚がつぶれて大変だったけど、今は大丈夫。

⑤ 宝石店

ガラスが割れて台所も壊れた。

宝石は無事だったが、宝石は必要がないものになってしまって売り上げDOWN……。

⑥ クリーニング

机が地震の影響で右側へ→左側へと動いて、壁に穴があいた。

⑦ ちわわん屋 (被害なし)

ここは震災後にOPENしたのだが元町の本店は全壊。ちわわんは下に落ちて割れた。のちに他のメーカー、みんなが協力し合い、安くて良い品を手に入れるようにした。そして1/21に本店はOPEN。また、その4日後にこのちわわん屋OPEN。

震災後みんながちわわんを買いに来てくれた。

まとめ

ほとんどの店が震災前、後では客足が遠のいて、売り上げも減少している。

大きな建物物がつぶれ、自分達の店に大きな被害をもたらした。



▲ H7.1月17日 撮影
 三宮センター街一丁目
 (1946年にOPEN。250mの商店街)
 には92店舗があった。

H9.3月14日
 ▲
 アーケードが火でやけて
 溶けた。

◎ 考察・感想

- ◎ 阪神大震災で大きな被害がでた事はテレビや新聞で知っていたが、実際にいって見て、完全に復興するには、後5年は最低でもかかると思って本当にひどいことが実感できてとても勉強になった。(土田 貴史)
- ◎ 鷹取へ行って地震の恐ろしさを改めて実感した。担当してくれたおもすぐ丁寧に詳しく、分かりやすく教えて下さった。そのおもすぐ仮設に住んでいるそうだが、「仮設に2年も住んでいるといやになる。早く帰りたい。」と言っていた。仮設に住んでいる人は、まだたくさんいる。そういうさみしい気持ちを持っている人がたくさん。早く、みんなおもとて幸せになってほしい。ボランティアの人がいて、みんな協力していたのが印象的だった。人間は、やはり人助けに力けられるものなんだなと思った。(大石 香織)

- ① 3月16日、月曜日、福井に震度3の地震が起こった。私は神戸に行き、充分地震の恐しさを味わってきたので、悔感になっていて、「この場合はこうする」とときに考えついた。冷静になる事は難しいけれど、考える余裕があった事にとっても驚いた。きっとそれは神戸を通して自分が何か見つける事ができたからの地震にたおむかう勇気をくれた神戸の人々に一言。—ありがとうございます。— (森 留依)
- ② 阪神大震災での福井への影響はたったの震度4。それに対して、神戸は震度7という大きな影響を打つ。すべての建てる物が壊れてしまった。でも、2年たつた今はほとんど復興していて、すごいと思った。(野尻 千晶)
- ③ 今回の調査活動で、神戸などの震災の影響がよくわかった。商店街では店が全壊したという人がかなりいた。自然の力はおそろしいと思った。(山本 春)

福井ももうすぐで「大震災から50年目」に突入する。「地震は50年に1回」というが、それなら、それなりの対策をねていかなければならぬ。だから、阪神大震災は、けて人事と考えるは、いけない。ぜひ、これからの福井のためを

🌸 今後の課題

今回は震災以外の事で調査したから、事がたくさんあったのに、日時、場所の関り系で全く言固べられなかった。「研究のねらい」に表記した以外に、福井の商店街と神戸の商店街とでは大分印象が違うか、どのような点で違うのかなど、と比較もしてみた。いつかまた大地震が起こった時は、教えていただけたら、思い、的、的確に判断し、実行したい。

C組 5班

班長 寺井 美裕
大月 伯恭
富田 洋平

1. 研究テーマ

阪神大震災時の報道機関の働き

2. テーマ設定の理由

今から二年前に神戸で起こった阪神大震災。その時、多くの人々にいろいろな情報を伝えた報道機関は、交通網などが乱れてボロボロの神戸で、どのように情報をあつめたり、どのようなことを人々に伝えたのか？

このような問題をどのように解決したのかを調べたかったので、このテーマを設定した。

3. 研究のねらい

阪神大震災時、混乱の中での報道機関の働きを、つきとぬる

4. 研究内容 ～ in NHK, 神戸新聞 ～

① 混乱している中で、どのように情報を身に入れたか？

- ② 報道する上で苦労したこと
- ③ どのような情報を伝えようと思ったか？
- ④ 機材などがこわれたりしたと思うがその点はどのように改善したのか
- ⑤ 自分の野かゝずれている所を報道している時の気持ち
- ⑥ 報道体制の反省
- ⑦ ⑥の改善案

5. 研究結果

NHK

★ 情報の手に入れる方法は……

電話がつかえなかった → 無線(つかえるようにしてる)
 ↓
 混乱 → 有線電話(NTTと契約)

○ 他局と協力

○ いつもそなえている → ○ いつでも準備している
 ○ バックスキップレコーダー

★ 苦労した点は……

- へりをとはずすとHELPの音がきこえないと、くじょうをいわれた ○ 仮設のスタジオをたてた
- 人を集めるのが大変
- 手書きでタイトルなどをつくった

★ 震災時どのような情報を伝えようと思ったか…

- 映像 → 全国にうつたえかた
- ライフライン → テレビ、ラジオ

★ 機材などはどうしましたか？

- こわれてなかった



これらの機材は、ロープなどではいられている

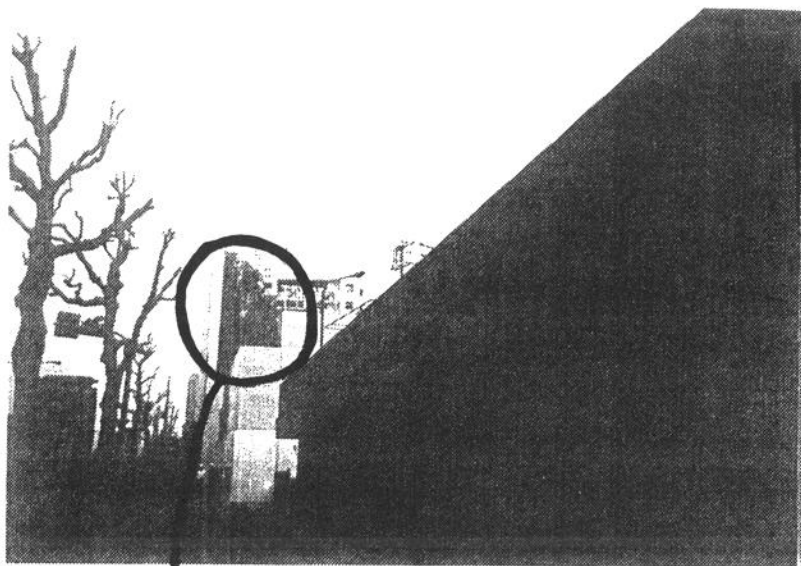
★ くずれている自分の町を報道している時の気持ちは…

- とりあえず働いていた
- 相手の事は考えた

★ 報道体制の反省は……

- その時の仕事に対する反省はないが、人のたすけを
求める声をふりきってしまった。→本当にそれでいいのか？

- 報道していたおかげで全国の人に状況を把握してもらえて、援助物資などが届いたので、一人の人も助けるよりも、たくさんの方が求えたのでよかった
- できる範囲で全員がかんばった
- この仕事をする上でスキルかとても大切



神戸市中央区中山手にあったNHK神戸放送局。しかし、建物があふないので神戸市中央区のHBCビル5階をかりて、仕事をしている。

★ 地震後の状況は……

- 自分達は、全国にうたえかけなければならぬので、あふない所についても逃げられない
- ほとんどが監禁、にちかく気がヒリヒリしていた。

◁ 神戸新聞 ▷

★情報の手に入れる方法

もっとも苦労したこと

印刷の機材は助がたのたが"ビルがくずれ、

PC 類が 使えなくなり 新聞が 作れなく

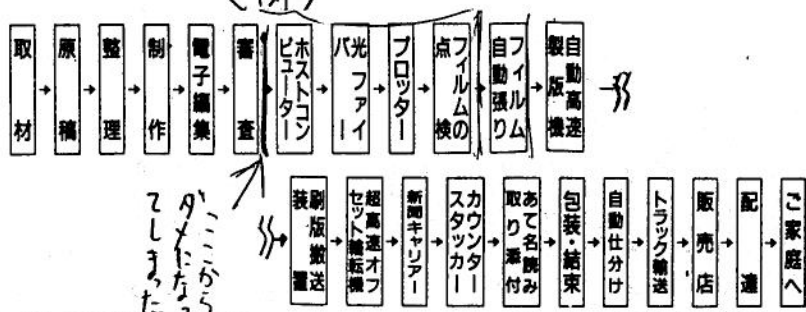
なりました。

PC の中には 作った 新聞の

原本を 印刷所へ 送る ものも あったので

利ビルも 作れない、印刷所へも 送れないよう

になっちゃった。 < 図 >



しかし神戸新聞社はそんな中で、その日の内に夕刊を出している。これは、1994年の1月に京都新聞社と災害協定という災害時には協力するという協定を結んでいたので、原本のフィルム樹立を京都新聞社に作ってもらう事になった

★この左側にある新聞の情報はどこから？

家に帰った記者が会社に出勤する時、歩みながら見聞をした事をそのまゝ書いている

また会社にいる人が歩いたりして、現場に行き情報を入手する

このように足を使って言わば行っている

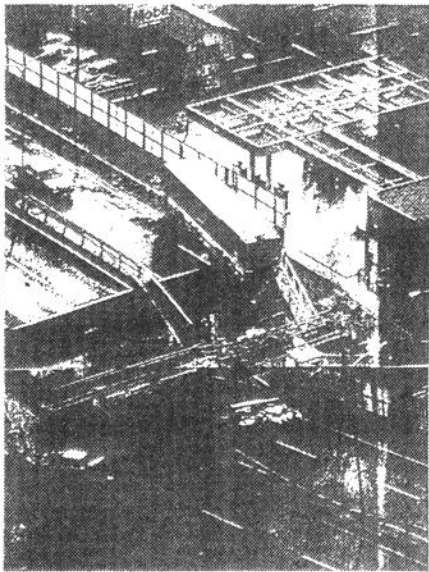
大震災の起きた日に出された夕刊

近畿で大地震

神戸新聞

夕刊

1995年4月7日 1月7日 大坂府



高速道崩壊

死者203人 不明331人

神戸、洲本、淡路島、淡路、徳島、香川、高松、愛媛、岡山、広島、山口、福岡、熊本、鹿児島、沖縄

【神戸7日電】神戸市、淡路島、淡路、徳島、香川、高松、愛媛、岡山、広島、山口、福岡、熊本、鹿児島、沖縄で発生した地震による死者は203人、不明者は331人、被害は甚大と見られる。神戸市では、市内のビルが倒壊し、多数の死者が出た。淡路島では、島内の道路が寸断され、交通が遮断された。淡路、徳島、香川、高松、愛媛、岡山、広島、山口、福岡、熊本、鹿児島、沖縄でも、各地で被害が出た。地震発生後、各地で救助活動が行われており、行方不明者の捜索が続いている。

淡路島震源 M7.2

家屋倒壊や火災

3000人生き埋めか JR全線不通

【神戸7日電】地震発生後、各地で家屋倒壊や火災が発生し、多数の犠牲者が出た。また、JRの全線が不通となり、交通が遮断された。地震発生後、各地で救助活動が行われており、行方不明者の捜索が続いている。また、各地で火災が発生し、家屋が焼失した。JRの全線が不通となり、交通が遮断された。地震発生後、各地で救助活動が行われており、行方不明者の捜索が続いている。



各地の被害状況

★ 人々にどのような情報を伝えようとしたか？

人が生きていく上で必要な情報ライフラインについて 1p~2p
取って伝えた。また同じ被災者として人々をばねましたり、などめ
たしする事を目的とした「生きる」という新聞を作りこれが「日本新聞
協会賞を受賞している ↓↓

この「生きる」は今からこの神戸で生きていこうとする人々の姿を
うつす事で「みんながやっていこう」という事を強調した。

—— 少し落ち着いてから ——

なぜこのように多くの人が死んでしまったのか？ という事を調べて
行った。しかも震災の直接死は5500人だが「震災間接死
というのが1000人にものぼってしまった。災害マニュアル
この事から行政の危機管理ができていないのではないかと
いう事について書いて行った。日本はできていない」

★ 自分達の町を見とどんな気持ちになったか？

悲しみやなせこんなに多くの人が死んでしまったのか？
そしてもっと強い町作りをしなければという反省

★震災のとき心がけたこと

被災者と同じ目線で新聞を書く ⇒ 被災者の気持ちを新聞に転

行政の計画 ⇒ 被災者に対して不十分だったりする
それを十分が不十分かを考えて書いていく

-これをモットーに行こう-

2000通もの供感、おはげましの文などの手紙がとどいた

記者と被災者が「おたがいに」おはげましあった

○新聞は誰にとって何が、必要なか、この事を考えてみんなを「つていく、というのが」みんなの合言葉にしていた

○今でも仮設住宅に住んでいる人がいる。そんな人々もいるのに、神戸は直っているように見えるが、人々の生活は×チ×リ×チ×チなままだ。そんな事を直そうとする運動と力を合わせて、みんなの生活が直るようにしたい。

感想、今後の果題

<寺井>

この事について調べた結果予想以上にいろんな事がおか
て、とてもおもしろかったが、「震災後の事について、もっと調べて
見たかったが残念だ」。

<大月>

自分達のテーマ「阪神大震災の報道機関の働き」についてい
いる事が多かったのがよかった

<留田>

阪神大震災の中で「報道機関」の人々が味あった苦労など
を理解できてうれしかった

今後の果題として震災後の人々の生活面での「ギズ」は、いれている
のが、など、ソフト面での事について調べてみたい。

C組 6班 *大武陽一* 田中沙季 *小西真希*

[研究テーマ]

震災のつめあとを知る

[テーマ設定の理由]

あの阪神大震災から早く2年がたち、だいぶ神戸も復興しつつある。しかし大震災によって、できた心の傷は、今なお癒えていない。そこで今回の調査活動を通し、神戸の方達のことを少しでも考え、又役に立つらと想い、このテーマにした。

研究のねらい

- ◎ 仮設住宅に訪問し、様々な人達と交流をすることによってボランティアの心を育てる。
- ◎ 自治体の話を聞き今後の防災について考える。
- ◎ 被災の実態を肌で感じ、震災の恐れを脳裏に焼きつける。

[調査内容 + 調査場所]

- 震災に携わる講演会を聞く
↳ フェニックスプラザにて
- 仮設住宅訪問(ボランティア)
↳ 兵庫区の仮設住宅-PROJECT 1-2 (代表) 有光るみ様
- 震災時の神戸・兵庫(自治体)の対応について
↳ 兵庫県庁消防防災課 (課長) 東田雅俊様

🐰 仮設住宅での問題点 🐰

前ページでも説明があったように非勤所を解消する手段として仮設住宅が設置された。とにかく大勢な人達の住む所を確保しなければ"ならない為、最初は郊外を中心にし？つくられていた。

① 仮設住宅 → 市街地から遠い所

- 病院もない
- 交通面が悪い

不便

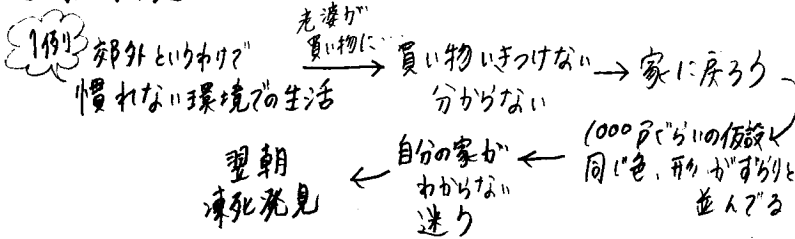
行政いわく **弱者優選**

お年寄り、障害者、
何かあった時助けられない
行動を起こせない
協力する気力があてにならない

※ 若者達は後からできた町の真ん中(公園、空地など)に20戸くらいでできる仮設に。

便利

② 孤独死



上の例は仮設での生活で一番最初に起きた孤独死だ。この時はまだ生活者が見られないとあって老人の人に見わかるのほども困難なことだ。このことから分かるように弱者の人達にとって仮設住宅での生活はとて苦だ。たのだ。

行政の提案
見かけが又より棟に着号をくり
動物の絵をいれた。

③ 被災者の了解を得るの行動

多くの被災者は決して弱者を認めない。同じ被災者といわくがある限り。だからと人々に小さな行動(ボランティア)を起こすにも被災者の了解を得なければ"ならない。またなければ、ボランティア団体に対する非難やいじめが生じるのだ。

地震災害によって生じる問題点

地震災害というのは本当に怖い。何の前触れもなく一瞬にしてすべてを失ってしまうのだ。被災者の人達は、家・お金・就労など大切なものがなくなり、精神状態が本当に不安定になっている。



仮設住宅の解消プログラムとして行政は

災害復興公営賃貸住宅

今日では仮設から災害復興公営賃貸住宅への
移行が頻繁になっている。

というのを
実施している。

災害復興公営賃貸住宅

◎家賃が安い(1:7=5年間)

五年間保障ということもあり大変申し込み率が悪い!

Because... 被災者の方達は見知らぬ環境で1から始めるのに
私達には想像がつかないくらい恐怖感を抱いている。

それを何度もくり返し行くと精神的被害をよりひどいものにして
まり恐れがあるのだ。

行政からの提案

「5,6人のグループ申し込み、
知人との生活で精神的不
胆は最低限に縮められる。」

But.

なかなか
集まらない



見舞い金が最大で40万円しかない苦しい現実

ちなみに島原、奥尾の時 → 見舞金 2000万円は? 1:1
被害の規模が大きいこともあって被害者1人当たりの見舞金が40万円しか
でない。その40万円で何も無い状態からやりなおすなんて無理。ツギ

つた

行政いなく
 後は**自助努力**で
 がんばれ!!!

そんなこといけど

自助努力をするにしてももう少し根拠となる
 ものをもらわなければ絶対に無理だ。
 But...これを土台にして再びやりくりをしろ

現在ボランティア団体と被災者が求めているのが「公的支援」である。
 公的支援をすることによって、もちろん被災者の人たちは助かるし、今
 後再びこのような災害が起きた時無駄な時間を要せずに災
 害対策を行えるといり利点もある。

ボランティア団体
 公的支援の必要性を確認しています。



地震によって被災者の人達は就労までもを失ってしまった。
 仕事が出来なければ「収入がなくなる」ということにもつながり、
 一家を支える上での生活は困難なことだ。また、男性にとっ
 て仕事といふのは生きがいであるパターンが多いので、就労を失ってホ
 ウ然と毎日過ごす人もいる。

テレビや雑誌には、お神戶は復興しつつあるといわれている(観
 光客を集めるための宣伝)けれど……

まだ全然復興していない！その現実を私達は見たのだ。

ボランティアで大切なこと ~御旅仮設より学んだ~

今までのページにも記したように被災者はものすごく精神状態が不安定。
 ある人は不安をまぎらわすためにアルコール依存症になってしまい、ある
 人は旧中家に閉じこもってしまい、ある人は、まだ「まだ」ある。これらが
 すべて孤独死の原因ともなっているのだ。しかし、ちょっとしたかけ声がその人
 達にとって安否確認にもなるのだ。被災者の心の傷が癒えてい
 ない一番の理由は心のケアが足りないからかもしれない。だから心のケア
 をする上のボランティアで自己犠牲という考えがなくては長続きしない。

2. 兵庫県の防災体勢について

Q 兵庫県には、防災行政無線(衛星通信ネットワーク)とV
うものがあったそうだが、それは使えなかったのか?

A. 地震発生と同時に、関西電力からの電気供給がストップし、自家発電に切り替えたが、断水によって、冷却水の供給が途絶え、発電機が停止してしました。このため、衛星通信ネットワークの機械が作動せず、復旧したのは、12:05だった。

Q. 福井県の方の話によると、兵庫県は、1日に500回ほど(福井県は1500回)しか防災行政無線を使ってVなかったそうだが、なぜそれほど少ないVのか?

A. 確かに、1日500回ほどしか使ってVなかった。兵庫県の衛星通信ネットワークは、宇宙にある衛星を経由して情報を伝えるため、相手に伝えるため、数秒間のおくれが出る。それにくらべ、電話回線は、情報を伝えるのに時間がかからずV。このような理由で、兵庫県では、衛星通信ネットワークよりも、電話を使うこの方が多かった。そのため、VざVう時に、衛星通信ネットワークが使えなかった事実がある。

Q. 大災害の経験がほとんどないV兵庫県では、即、対応することができたのか?

A. 兵庫県(神戸)は、上を六甲山、下を瀬戸内海にはさまれた、細長V都市である。このため、ダムなどがなかった昔は、台風がくると、川が切れ、洪水になる事が多かった。このため、兵庫県は、洪水のような災害は、ある程度は予測していた。しかし、地震のような突発的な災害は、ほとんど予測しておらず、しかも、震度も(一部では震度7)のように、大きく、しかも県庁が被災するというのは、全く予測してなかった。その結果、兵庫県は、即、対応する事ができなかった。

Q. 事前の調査により、伊丹市では、地震が9分後の5:55に災害対策本部が設置された。しかし、兵庫県は、7:00となっている。なぜこんなにおくれたのか?

A. 地震が起きた直後は、交通機関がすべてし、道路も使えない状態だった。このため、ふつうなら、30分ほどで来られる職員も、1時間ほどおくれた。このため、東灘区で被災した、芦尾副知事は、6:50ごろに登庁。又、中央区で被災した知事にVつては、8:20ごろの登庁となった。そのほかにも、関係機関などとの連絡ができていなかったために、地震の全体像というものが、なかなかつかめなかった。このような理由で、設置がおくれた。

Q. 阪神大震災を教訓に、またこのような地震が起きた時の対策はたててあるのか。

A. 今回の地震では、地域防災計画というものがほとんど役に立たなかった。そこで、兵庫県では、この地域防災計画を全面的に見直した。そして、次のような事を、基本的な視点とした。まず1つ目は、防災基盤の整備である。今回の地震では、ライフラインや交通網が壊滅的打撃をうけた。また次の地震にそなえて、災害に強い交通、ライフラインの整備の促進が行われている。2つ目は、県の防災体制の充実である。今回の地震では、初めのころ、ボランティアや、海外物資などの対応が、あまりうまくできなかったため、この事項を作った。3つ目は、県民参加による防災体制の確立である。「自らの命、自らのまちは、自ら守る」という、防災の原点に立ったまちづくりを進める計画である。そして、4つ目は、防災協力体制の強化である。大規模な災害に備えるため、他の府県間、市町間などとの応援協定の締結などを考えている。この他にも、阪神大震災から学んだことは、まだまだたくさんある。このような事を考え、これからの防災体制づくりに使っていく。

阪神大震災についてのアンケート

Q6. 避難袋の長所、短所をお書き下さい。

☆当てはまるものに丸をつけて下さい。

○性別 男 女

○年齢 10代 20代 30代 40代
50代 60代 70代 80以上

○住んでいる所 西区 垂水区 須磨区 長田区
兵庫区 中央区 灘区 東灘区 北区
その他 (市)

長所	短所

Q1. もし差し支えがなければ、阪神大震災が起きたときの様子をお書き下さい。

Q7. ボランティアについてどう思いますか？

Q2. 震災後の自治体の対応を評価しますか？

YES NO

Q3. それはなぜですか？理由をお書き下さい。

Q8. 阪神大震災によってあなたの防災に対する意識は変わりましたか？変わったことがあればお書き下さい。

Q5	Yes. 3人 No. 7人		Yes. 1人 No. 8人.	
Q6	<p>長所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月という時期に便利。 	<p>短所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とられる(ビビる)は5人 ・11月という時期に、とり出せない。 ・普段はじゆま。 ・置く場所がない。 	<p>長所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何か月分の食料の確保が可能。 ・情報をばか人かひてる。 ・コンパクトである ・20人生活に役立つ ・安心できる。 ・すぐ持って出かける。 	<p>短所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持って出かけるかどしどし ・にもつたがる。 ・重くなりすぎる。 ・高い。
Q7	<p>○神様のからだ</p> <p>○個人の意志の範囲で自由な行動が保障される。</p> <p>○その気持が大事。</p> <p>○自発的ならいい。</p> <p>○あたり前のこともお互いが気持よくできる ようにした。</p> <p>○さりげなくさと相手を支える。きこばい)を大切にしたい。</p>		<p>○あはらしいことだと思ふ。</p> <p>○チカラ、助け合いが実現している。</p> <p>○多くの教訓も得られた。</p> <p>○当然といえる事を言う必要はない。</p> <p>○広がっていくことがよい。</p> <p>○豊かになる育つためには、現代社会では是非必要である。</p>	
Q8	<p>○自然のおそろしさを知った。</p> <p>○興味かきた。</p> <p>○変わったか、防ぎおかたし、</p> <p>○避難難場所の把握</p> <p>○段々と薄れてきた。</p> <p>○山々の水、食料等をたくわえている。</p>		<p>○災害に関する意志が高まった。</p> <p>○自分の命を守るのは、自分自身の義務であると思ふようになった。</p> <p>○あま)変っていい。</p> <p>○危機感を持ってようになった。</p>	

Q2では、兵庫の選、福井の人選との考えの違いがある。
それはやはり、実際に体験した人との違いがあるためである。

Q4.5 をくらべて Q4 は 2 人必要といっているが、
Q5 では 1 人足りている。つまり 2 人足りていることか
実行できている。

4. ボランティアを終えて……

<大武>

初めて、仮設住宅をまのあたりにして、テレビで見ていた以上に、そのさびさを感じた。それと同時に、本当に、この人たちとふれあうかどうかという不安がこみ上げてきた。しかし、実際に会ってみると、やさしい人たちはばかりで、とても楽しかった。本当に、よい経験ができたと思う。

<田中>

被災者であるおばあちゃんとお話をさせてもらっている途中おばあちゃんが突然目をうつろって悲しそうに「この仮設も4度目なんや。点々としてきたすがにつらかった。」そうホッリと吐いたのです。それまで楽しそうに話をしていたおばあちゃんとは裏腹にそこには数々の苦勞を重ねた姿があるように感じました。明るくふるまってくれたおばあちゃんでもその明るさにある強さを見たような気がします。

地震の災害は本当に恐い。

<小西>

仮設住宅での初めてのボランティアということで、少し緊張してはいた。しかしそこにいた人たちはみんな仲よく、とても楽しかった。

そして、私達が歌を歌った時は、涙をながかしてくれたり、うちは歌ってあげたりしてくれた。それは私にとってすごくうれしいことだった。

私はこの仮設住宅でのボランティアのことをお忘れないうちに、思いおぼえ仮設住宅にいたみんなへ、ありがとうございます。

[感想]

震災から、もう2年がたち、神戸の町は、だんだん復興し
つある。しかし、私達が神戸の人達に、アンケートをとった際、
お年寄りの人たちは、「阪神大震災についてのアンケート」という
字をみたたん、「VVでも」「何ごうでも」といV、ことわつて
Vく人が、いた。きっと、阪神大震災の悪夢を思い出した
くなVのだらう。Vくら町が復興したといVえ、町の
人達の心の中には、大きく震災の事が残つてVるのだ
らう。神戸の人達の心の時計は、1995年、1月17日、午前
5時46分で止まっている。

[今後の課題]

今回、私たちは「震災のつめ跡を知る」というテーマのもと
活動した。活動してみつて、神戸の人達の心の中がら、だんだ
んと、阪神大震災の記憶が、導れてきてVるほうな気が
した。僕たちには、この阪神大震災の記録を、うまく後
世に残してVく義務があると思つう。

阪神大震災を忘れないために……。

C組7班 吉田昌平 片山智子
藤井敬也 梅澤佳乃子

テーマ 神戸、震災の跡を知る

テーマ設定の理由

1. 震災被災者の細部をボランティアという形で肌身で感じ、その時の気持ちも心から理解して、いこうと思ったからです。
2. 神戸の現状をこの目に洗いざらいしっかりと焼きつけ、今後の学校や家庭での生活等に少しでも役に立てることが出来れば良いと思ったからです。

研究の目的

1. 現在の神戸を見て、震災の爪跡を探す。
2. 実際にボランティア体験をして現地の人々と交流する。

研究・調査内容

1. 西宮プロジェクト結ぶでボランティア活動をする。
↳ 仮設住宅訪問
2. 西宮プロジェクト結ぶでお話しを聞く。
3. 仮設住宅の方にお話しを聞く。
4. 現在の神戸を見る。

研究・調査場所

1. 西宮プロジェクト結成
・石井さん ・渡辺さん ・横山さん ・岡田さん ・岩波城
・八木さん
2. 鳴尾浜1丁目応急仮設住宅。

研究・調査結果

1. プロジェクト結成の石井さん, 岡田さん, 渡辺さんに質問しました。

Q ボランティアをする時に大切な事は？

A “してあげる” という気持ちは持ってはいけません。

“させて頂く” という気持ちが大切。

A 訪問するタイミングが大切。それは経験をしていけばわかること。定期的に続けることが必要。相手が一度断ったそれは一種の愛情表現なんじゃないかな。

Q 震災があってから、ボランティアをする人の数は増えましたか？

A 増えた。ボランティアが誰にでも身近に出きる様になった。

Q ボランティアとして1番最初にやろうと思ったことは？

A これは難しい。私の場合、となりのおばあちゃんが家の下敷きになっていて、もう、助けるしかないんだよね。後から考えるとそれはボランティアだったわけで。その時はそれがボランティアだとは考えていなかったの。今ボランティアをしている人もそれがボランティアだと分かってやっているかどうかは私達にも分からないけれど。

Q どんなボランティアが一番必要とされていたか？

A お腹が空いて困っている人と全身にケガを負っている人では必要とする物が違うし、履物物が欲しいという人もいるし、着る物が

→欲しいという人もいるし、ケがして病院へ行きたいという人もいる。
それに、家が欲しいという人もいるよね。とにかく、生活出来ること
全てが必要だっただんじやないかな。

A 病院。

Q 今は？

A 今は、もっと分かんなくなっているの。だから、震災直後はみんな避難所
でかまうて暮らしていたから、横を通る時に「具合はどうですか」とか
って聞けたけど、今は仮設住宅にいらっやるから、そういうこと
難しくなっているよね。どの人が、どのくらい大変かということか分
からなくなってきた。

A 引越し。

Q ボランティアをした時の相手の反応は？

A 沢山聞いたわ。なぐられた人もいれば、当日はすごく怒っていた
人が翌日に、「あまなからた」って謝ってきた人もいた。とにかく、いろ
いろな人がいたわ。

A 訪問していった先の男性に「ボランティアの人に何が出来るんだ！」
ボランティアの人が食事を作ってくれるのか？ 仕事をくれるのか？
と拒否されたこともあったわ。60〜70代で、御家族をせめて
しまい、仕事を無くされたのわ。でも、反対に御家庭を持た
れて、家も残っていて、仕事もある、そんな人もいたわ。やっほ
人様々なんじやね。

Q 被災者の中にも、ボランティアをしようという人はいたのですか？

A いる。実際、私もそうだしね。その状況だとみんなボランティアを
することになるよね。

A いる。仮設に住んでいらっやる人で、バザーの荷物を運ん
だ人もいるし、手芸品を作ったりして少しでも協力しようという人も
いるわ。こちらからの謝礼が無いと分かっているも進んで協力
してくれる人もいるの。



↑ 今も多くの人が仮設住宅で生活しています。

Q ボランティアをして得られたことは？

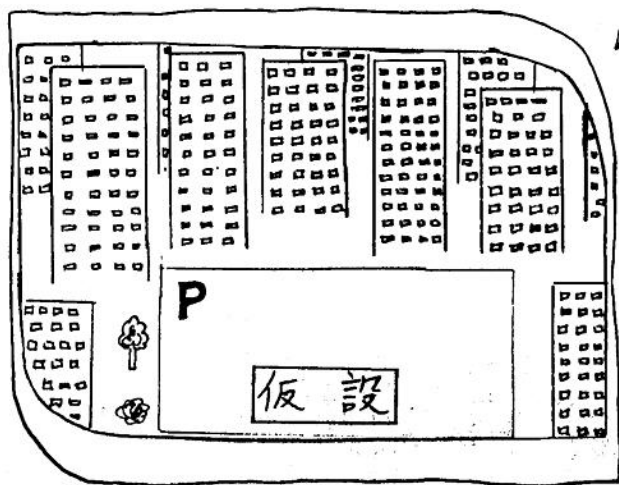
A まずボランティアをしてという事は、自分の中にボランティア意識があったという事で、自分の中のある物を変えていける。という感情があったからかな。その事が結局、人のためになったし、役に立ったわ。それに、仲間や知り合いが沢山出来たし、自分が少し変わることが出来たと思う。それに、ボランティアで自分の住んでいる所の近くにあるしね。本当に勉強になることが沢山あったわ。

A ボランティアをした時に、その相手の人がにっこり笑って「ありがと」って言った時はすごくうれしかったわ。

Q 震災後、町の活気は減ったか？

A すごく減った。町を出ていく人が沢山いるもの。

→



←
 レインボータウン
 レインボータウンと
 いわ高級マンション
 の隣駐車場に仮
 設住宅が建てられ
 ました。
 (兵庫県西宮
 鳴尾浜
 なみおはま
 武庫川団地にて
 おるがゆ)

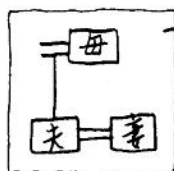
2. 震災の爪跡を探しました。

・レインボータウンにて

レインボータウン(写真上)の中の仮設住宅を目にし、同じ地に
 住む人々の生活のあまりにも大きな差に驚きました。

鳴尾浜：海に囲まれる埋め立て地である。西宮 内にある中が
 ら本の指に入るくらい仮設住宅が多い。復興は
 あまり進んでいない。付近の仮設住宅では、スーパーが
 近くにないので遠くまで足を運ばなければならず
 苦労している。又、人々によってはバス代さえも高く、
 歩いて物動しなければならぬという。

・仮設住宅にて I



3人家族

90歳で寝たきりの義母と
 重い病気をわがらり夫を支え、
 60歳という年齢で頑張る妻

このような家族でも公営住宅には入れられないのです。

・仮設住宅にて II

埋め立て地にある仮設住宅の前の道路は泥でした。そのため地震によって地面がもり上がりました(写真下)。

西宮は爪跡はほとんどなく、震災のあとを感じさせなかったけれど、ここでははっきりと形になって表れました。あ

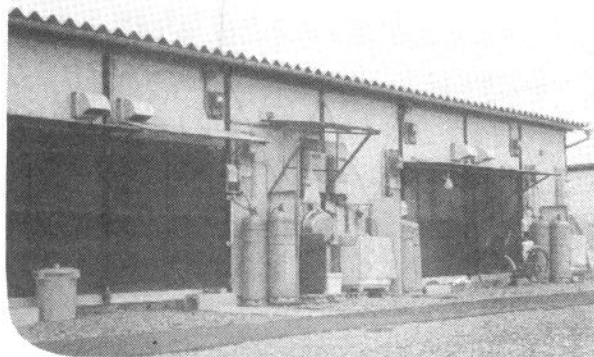


・野球のグラウンドやテニスコートにて

鳴尾浜にある、野球のグラウンドにはアスファルトが敷かれ、あるいは砂利が敷かれてその上に仮設住宅が建てられました。それほどまでに土地が不足していたのでした。テニスコートはアスファルトや砂利は敷かれていませんでしたが、同じように仮設住宅が建てられました(写真次ページ)。

このような所に建てたのは震災直後に使用する人がいなかったからで、復興しても物動する必要性がなかったからでした。

仮設住宅のある所が復興してきて、その場に新たに何かを建てることになった時は仮設住宅に住む人達の立ち退きを行わなければならず、最近ではやはり、その傾向が強まってきているのです。



↳

テニスコート

テニスコートの上に仮設住宅が建っています。

3070プロジェクト結核の渡辺さんにためになるお話を聞きました。

- この震災で大変だったのは全壊した家だと一般に思われていますが、実は半壊した家が一番大変だったと知られます。なぜかという、全壊した家には補助金が出るのに、半壊した家には補助金は出ないのです。又、少ししか被災に合っていない家の場合は少し手を加えればそのまま住むことが出来るからです。
- 西宮では復興が進んでいます。又、神戸などの都心でも復興は進んでいるとされています。しかし、しかし 一歩裏道に出るとそこにはまだ震災の面影が残っています。ホームレスでもないのに、家が無く、外で美しい暮らしをしている人達がいるのです。
- ホランティブをしています。人々の中には感謝の声を出して心の底ではどう思っていない人や、怒っている様に見えても内心喜んでいる人がいました。その経験からたとえ文句を言われても喜ぶ様になりました。

考察・感想

- 大震災から2年2ヵ月余りがたっているのに、仮設住宅に住んでいる人が多くて、また公園で生活しなければならない人達がいるのに驚いた。
- 全ての被災者が、自分の家を持つためには 約8年もの時間がかかるので、みんなの協力、国の協力が必要だと思った。それに残りの8年間自分達にもできる事を少しでも探したい。
- 仮設の人の生活というものを閉き自分達の中ではどうにもならないけれど、心から公営住宅に入ることはできないだろうかと思った。
- 仮設を見て本当に寂しい所だと思った。人が住んでいるのに静かで、近所の人達と話す姿が見えなくて、本当に人が住んでいるのかと思った。
- 被災地の復興が一番大切だと思った。

今後の課題

- なぜ神戸などの都会の裏側は復興があまり進んでいないのか、疑問に思い、調べていきたいと思う。
- 石井さんのお話を聞き、「ボランティアって何だろう」と思った。このことを今後も考えていきたい。
- 国からの神戸復興基金をうまく利用して、神戸の町を復興してほしいと思う。

明石焼とは？

【テーマ設定の理由】

普段はおやつとして日本人に食べなじみを持ってきたたこやきの歴史や味などいろんな部分に興味があったためこのテーマを選んだ。

2-C	8班
班長	志田
副班長	坂井
地回	高瀬
時計	木津

【ねらい】

福井と神戸のたこやきの違い(比較)

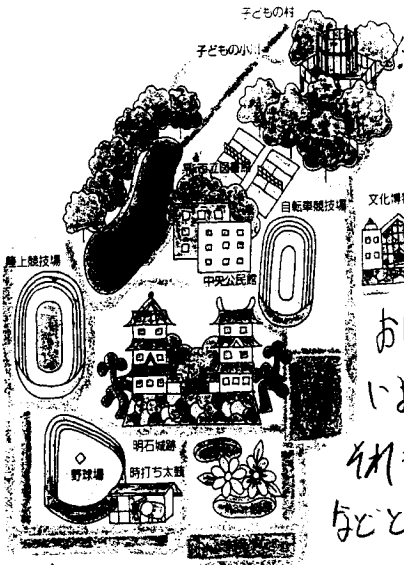
明石焼の店に震災とたこやきの関係をしらべる。

【明石焼の本籍・明石市】

東経135度の日本標準時子午線が通過している。それにちなみ子午線標識・子線交番などがある。

明石公園

自転車競技場や陸上競技場や明石城跡や野球場、文化に至っては図書館・公民館・レストランなどがあり、明石公園に行けば何でもできる。



← 明石公園MAP.

魚の棚

明石といえば魚。僕たちが実際に魚の棚を歩くといせいの良いおじさんおばさんが声を上げて、おいしよ。とが、安くといふと言っていた。それらも新鮮な魚ばかり。鯛やうなぎなどどどびはねていて箱から飛び出し

ていた。

明石海峡大橋

従来は明石市と淡路島はフェリーでしか交通手段がなく時間がかすこがかっていたが、この橋が出来たおかげで、4~5分で移動することが出来、2時間も短縮すること出来る划期的なものだ。それで四国まで直通で行けるようになった。能問題も多く、風の強い所でもあり潮の流れも下、阪神大震災などもあって、秒速80kmの風とM8.5の地震にも耐えられるようになった。ちなみに世界最長の吊橋である。



【明石と福井のつながり】

昔、福井の殿様が明石にやってきました(出張のようなもの)で、明石焼を食って、「これはいちよ」と言って福井に持ち帰り、福井に広まりました。

【 たこ助 】

明石について最初に向かったのが、たこ助でした。たこ助ではとても親切なおばちゃんと出会いました。そのおばちゃんは、たこやき(現地では玉子焼というらしい)を作る原料や、震災についてのことを、詳しく教えてくれました。

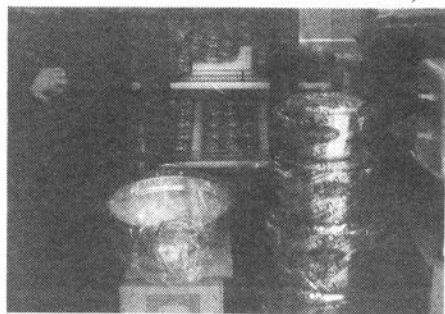
そして僕等が最も驚いたのは、玉子焼の食べ方についてでした。僕等のたこやきにもつ先入観は、やはりかつおやマヨネーズをつけて、つまようじで食べて食べる。そういうことではないでしようか、しかし明石のたこやきは全く違、た食べ物のように思えました。なんと、かつおやマヨネーズなどは一切つけては、ソースなどもついていませんし、つまようじなどで食べるのではなく、はしでつまんで食べるというものです。その食べ方も福井とは違い、なんとだしにつけて食べるのです。だしの中身としては、こんぶ、かつお、などを入れ煮たりするのですが、詳しいとは、おぼろげに聞いてもらいます。そのだしに玉子焼をつけて食べるのであが、とてもやわらかいので、すぐ形がくずれてしまいました。



【やすふく】

たこ助のおばちゃんに「僕達は家庭用のたこ焼きをつくる機械で、実際に明石焼をつくってみたいのですが、できますか？」と聞いたところ、できない、という答えが返ってきました。「なぜ？」と尋ねると、明石焼は、身がとてやわらかいので、普通の鉄板ではなく、銅の鉄板で作られているそうです。そこで明石焼を考えた人で、現在、銅の鉄板をつくっているおじさんに会うことになりました。👤。そのおじさんは、とてもおもしろい人でした。

そのおじさんは言いました。「手作りだから、銅の種類によってくぼみの大きさや深さも自由に変われるんや、くぼみが出来たら、周りのひすみを直さなアカし、根気かいるわ。」そんな言葉もこの道30年という安福さんが言うと、重みがありました。現在市内だけでも約150軒の玉子焼店があり、その9割以上が安福さんの商標を使用しているとか。家庭用の鍋も販売しており、お客さんには、銅の手入れの方法や、玉子焼の作り方の秘けつなども教えてくれる、とておもしろいおじさんだった。



【お好み焼道場】

震災の影響について

- ・震災によってライフライン(電気、水、ガス)が寸断し、使用が不可能となった。明石焼を焼くためのガスという重要な物が手に入らなくなり、カパンガスを使う店もあった。しかし、ここは、春節がガスのままのため、営業は困難となった。
- 1月17日から2月2日という間、ガスが復旧しなかったため、営業ができなかった。約半月という間、休んだため、いつも食べてくれたお客さんが来れなくて残念だった。
- ・材料の仕入れは、まとめて業者からとりよせたため困らなかった。また、材料の種類がたこ焼にくらべて少ないことも一つの良い点であった。
- 安く、身近なものとして親しまれた明石焼、おやつ感覚としても食べられていたため、値上げがりが心配だったが、大丈夫だった。
- ・震災があったため、店があちこちこわれた。
- 一刻も早く営業を再開するために、店にもかなりつめ跡が残っていた。修理する余裕もないため、傷が残ったまま、営業を再開していた。

今後の見通しについて

- ・店の発展については、少しずつ大きくなるだろう？
- 人の手で作るもので、機械ではやらないから大きな発展は望めない。大きくしようとすると、人手が沢山いるため、そうとう拡大しなければならないし、技術も身につけなければならないし、店の美味しい味を残したままにするのは難しい。よれお客もかなりいるし、行列ができて待たせるのは、どうしようもないけど、このままでもやっていける。工夫について

- ・明石焼はもともと、水で固まる小麦粉と、水でも柔らかい浮き粉との割合によって柔らかさを調節している。
- 割合を少しずつかえていき、お利い明石焼をつくらしている。
- ・貝は、もともとタコ焼きとの関連も深いため、タコを入れている。

→タコだけでなく、竹・こんにゃく・干しえび、焼きあなごなどを入れてみたが、もともと慣れ親しまれている味の方がよかった。

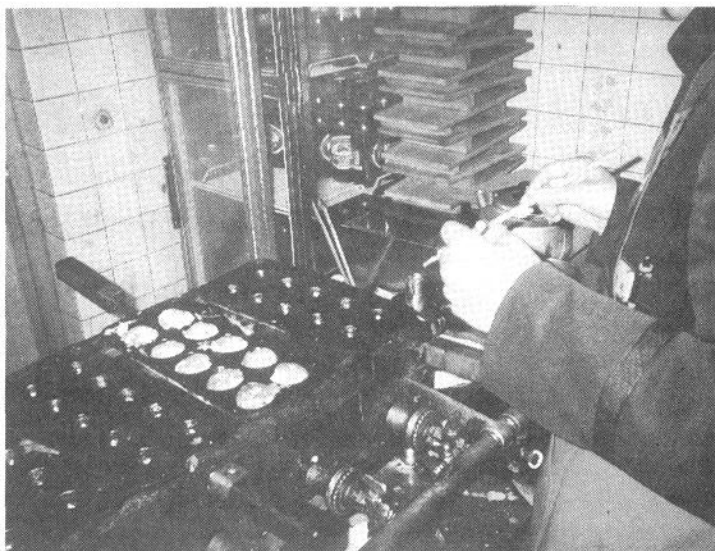
明石焼の原料

- ・うき粉…小麦粉を水中に溶かし、含んでいる澱粉を沈殿させて浮いてくる澱粉だけを集めて精製し、粉にしたもの。
- ・は、たい(メリケン)粉…大麦をいって焦がし、粉末にしたもの。
- ・小麦粉…小麦を製粉して、ふすま(皮)を取ったもの。(強力粉・中力粉・薄力粉)

明石焼とは？

- ・たこ焼と大きく異なる点、は？
→うき粉と小麦粉のバランスによって、明石焼のやわらかさを出す。小麦粉を増やすと、たこ焼がでる。(小麦粉を増やすと固まり、うき粉を増やすと柔らかくなる。
- 関西人の好きな薄味を出すために、たれをぬるのではなく、昆布とかつおぶしによって出されただしにつけて食べる。

- ・フスゴシ
が取り入
げられる。
→明石焼
が外の県
から来た
入店にも
食べられ
る。一般的
なものとし
て食べ親
しまれる。



【 たこ磯 】

三軒目のアポ先はたこ磯です。いきぎ足で向かうその店は、たくさんのお客でにぎわいました。明石焼の美味さも味わえて、リラックスしました。

【 よし川 】

この店で、「震災の時の営業はしてましたか?。」と質問したところ、「震災の時はガスがこながったので、営業はできませんでした。しかし、何日か後には、プロパンで、ガスをおこし、火を使えるようになったため、営業を再開しました。」
「では、たこ焼きの中身はどうだったのですか?。」
「家は、まとめて、業者から買いましたので、その心遣いはありませんでした。」
「では値段は、震災前と比べても、変わらなかったのかな?。」
「ええ、家は同じでした。」
「ありがとうございました。」

そして最後に吉川さんの自慢を聞いたところ、「たくさんの人々が美味しいと言ってくださることかな」と言ってくれました。

【まとめ & 感想】

- ・明石焼というのは、たこ焼とはまた別の歴史をもち、味も関西風に薄味であった。
- ・明石焼は、近年、タコだけでなく明石名産、アゲ、イカ、コンニャクなどを入れてきた。しかし、昔から食べ慣れている味の方が好まれた。
- ・震災により、あちこちの店が大きな被害を受けた。しかし、プロパンなどをを使って、一刻も早く、たくさんのお客さんに明石焼を食べてもらいたいという努力がみえた。また、数々の店には、見えない所に震災の傷跡を残していた。
- ・明石焼には、銅板が用いられ、伝熱性によっても、たこ焼と異なる。

感想

- ・確かに、明石焼は、明石観光協会が誇る程のものであった。いろんな所で味がこなされ、外から来た人にも分かるように、メニューなどまでつくられていた。市全体がアピールしようとしていた。でも、もっと驚いたのは街中の人々である。いろんな人が街中を歩いていて、「どこから来たん？」「がんばってーや」と声をかけてくれた。お店の人も、一つ一つの質問に丁寧に答えてくれたり、ときには、自分達の方から説明をしてくれた。また、明石焼を作らせてもらったり、明石焼を頂いた時、必ず、笑顔をみせてくれた。やはり、行って一番に驚いたのは、これである。中には、作っている所に入らせて写真を撮らせてくれた。僕は130軒ある明石焼の店からこの4軒を選んだ。予約タイムをとった時は、とても不安だったが、店をまわっているうちに、不安などという言葉はどこか消えていた。関西人の心のよさからの優しさのおかげだろう。震災から2年。まだ、完全に立ち直っていない神戸の人々、街に少しずつ活気が戻ってきたと思う。そんな神戸には、これからの復興と震災を未来にどのよきものか、たか、人々の心に残ることを願う。僕達に親切にしてくれた人達に感謝したいと思う。

◎組 9 班

メンバー 宮越久恵。

片岡千寿枝。戸塚有沙。

《テーマ》

神戸のたこ焼



《研究テーマ設定の理由》

神戸のたこ焼は、有名で、明石焼の正体をつきとめたいから。また、神戸のたこ焼は、なぜ有名なのかなども考察したいと思ったから。

《質問内容》

- ①(店ごとの)明石焼, また, ソース・たじなどの工夫
- ②上の質問をした上で, "他の店とはここが違う!" という, 自まんできるところは何か?
- ③明石焼が他のたこ焼(普通のたこ焼)より人気があるのはなぜか。また, どこに違いがあるのか。
- ④お客さんが多い時間帯は何時ごろか。
- ⑤どのようなお客さんが多いか。
- ⑥阪神大震災で何か被害を受けたか。また, どのような被害をうけたか。(店ごとに聞く)

《調査結果》

〇お女芋み焼道場

1.2 たこ焼の中にイカ・エビ・コシニャクなどを入れてみたが、やはり一番なじみのあるのはタコだった。

あと、たこ焼の材料であるメリケン粉や卵は火焼くと硬くなって、逆に（じん米粉(小麦デンプン)のこと）は火焼くとやわらかくなるので、それらを入れる時はそれぞれの割合を考えている。

ろ、マスコミが「大阪」といったら「お好み焼、たこ焼」と取り上げてくれたので大阪の近くにもたこ焼に似た「玉子焼(明石焼)」があるということを知りになり人気となった。

4. 日曜日の昼ごろがタライ

ろ、特に女の人。あと家族づれもタライ。

6. ガスが止まってしまって、品物も仕入れることができなかったので二月まで「営業できなかった」。

o よしい

1/2. 口の中でとろけるようにする。

ろ、玉子焼はやわらかいので「お年寄りに「食べてみた」」と思われ方がタライから人気がある。

4. 日曜日がタライ、一日中。特にタライのは二時へ三時頃。

ろ、子供からお年寄りまでいろいろ。アバックもタライ。

6. 被害はあまりなかったが、ガ스가こなかったせいで半月休めた。

o きせらや

1/2. 化学調味料を使っていないこと。素に味が付いている。

4. 土、日曜日の昼ごろ。

5. 子供から老人まで

6. 2階がつぶれた，プロパンを使った，二週間、
ガス栓に水がたまってガスがこなかった。

値段は変化なし

〇 たこのつぼ

4. 午後7時～9時ごろが多い

5. 子供から老人まで

6. 水道・ガスが止まり、3週間ほど休業。

・店1つこわれた。

・震災後、値段が安くなった



《 考 擦 》

作り方を、教えてもらえなかったので、それぞれの店の作り方の工夫などがあまり、分からなかったが、どの店も、玉子焼だけでなく、お好み焼や、おでんなどの違う食べ物を作っていたので、それも工夫点の一つだと思った。また、通常のだしを使って食べる他に、たこ焼ソースを使うなどの食べ方の工夫も見られた。

玉子焼の作り方は、やはり、普通のたこ焼と違って、とても特徴があった。

《 玉子焼のプロフィール 》

名前: <本名> 玉子焼 <別名> 明石焼

本籍: 兵庫県明石市樽屋町 <旧川端通り>

誕生時期: 天保年間 ~ 明治

特徴: 1. たこが入っている丸い形の玉子焼で、やわらかいもの。

2. つけだしで食べる。

材料: 玉子, 小麦粉, じん粉 (浮粉), 明石ダコ

《 玉子焼と大阪のたこ焼の違いは... 》

	玉子焼	大阪のたこ焼
かたち	丸いが平べったい	ボール状
中具	明石だこだけ	たこ、これにやく、糸エしようが
かたさ	やわらかい	石更い
食べ方	つけだしにつける	ソースをぬり、青海苔を振る
感覚	だし巻感覚	お好み焼感覚

《 玉子焼はだしにつけて... 》

明石の玉子焼は、小麦粉とじん粉(小麦デンプンのこと)

玉子、たこを使って銅板の上で焼きます。そして焼き上がった玉子焼を四角い板の上に乗せ、昆布のつけだしにつけて食べます。

一方、大阪のたこ焼は、小麦粉にたこ、天かす、糸エし

うがなどを入れ、鉄板の上で焼きます。そして、ソースなどをぬって食べます。玉子焼とタコ焼は、かなり違いがあるのです!

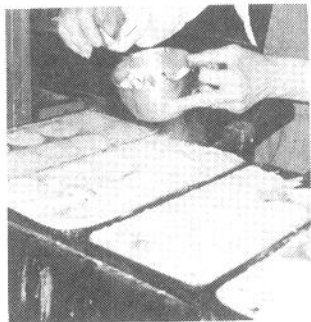
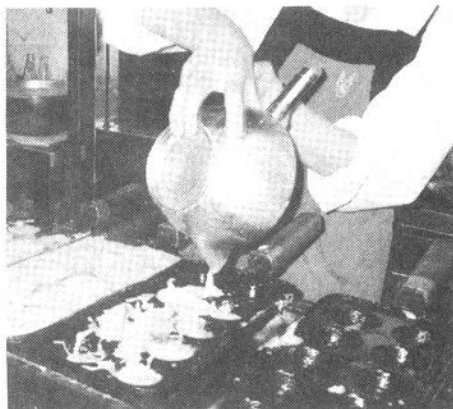


玉子焼のルーツは・・・

○玉子焼にも故事来歴があります。一つは、明石の殿様のお菓子を作るのに玉子の黄身だけを使った。すると残りの白身がもったいないので、これを利用して玉子焼を始めた……というものです。

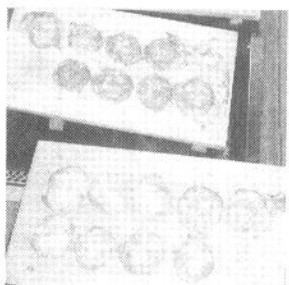
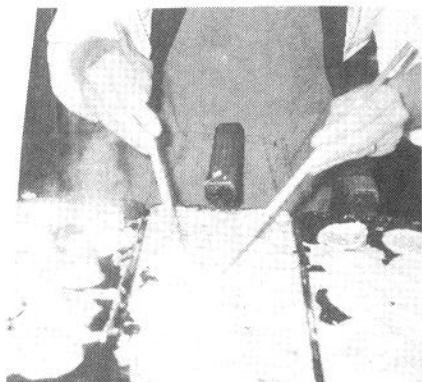
もう一つは、江戸時代の末期、天保の頃、べっ甲細工師に江戸屋岩吉という人がいた。ある寒い日に、ふところに玉子を入れていたら、その玉子が割れ、白身が固まった。べっ甲細工師の彼がこれにヒントを得て作り出したものが「明石玉」。明石玉は玉子の白身を接着剤として硝石などを固めたもので、珊瑚の替わりとして、かんざしなどに使われた。大変人気を得ていたようで、明治、大正のころの記録を見ると、明石の重要な産業の一つになっていた。そして玉子の黄身は、副産物として大量に残った。この不用品の黄身と小麦粉、さらに当時からたくさんとれていたタコを活用して出来たものが玉子焼……というものです。

玉子焼の毛とを
入れます。ちゃんと
油ぬってからネ。



メインのたこを
入れます。

くずれないように
形を整えながら
ひっくり返します。



できあがりい



ちなみにタコ焼のルーツは…



!!! 大阪のタコ焼のルーツは、明石の玉子焼にあるといわれています。昭和の初め、大阪にコンニャクなどを入れたラジオ焼きという食べ物がありました。このラジオ焼きに、戦前、タコを入れて商売を始めた人がいました。これが大阪のタコ焼きの始まりです。

しかし、なぜラジオ焼きにタコを入れたのか？

それは、ある大阪のラジオ焼きの店を訪れたお客の1人が、「明石ではコンニャクの代わりにタコを入れている。」と言ったことがヒントになったといわれています。以来この店ではタコを入れるようになり、大変繁盛し、戦後あつと言う間に大阪中にタコ焼き店が出来ました。このためタコ焼のルーツは明石につまり玉子焼にあるといわれているのです。

《 考 察 ・ 感 想 》



どのお店の入もすごくいい人で、話も分かりやすかった。玉子焼は、すごくおいしくて、福井で食べるたこ焼との違いがはっきり分かった。

調査活動で、初めて玉子焼を食べました。え〜 やっぱりおいしかったです。(笑) 玉子焼の歴史や作り方を知ることができて、とてもためになりました。



たこ焼は、ずいぶん昔から、あまり卵を替えずに親しまれてきたんだなあと思いました。実際に食べたけど本当においしかったです。みんなも神戸に行ったら食べてみて下さい。

《 今 後 の 課 題 》

神戸の玉子焼と福井のタコ焼を比べて、その違いをはっきりさせたい。

C 組 10 班

五十嵐 理紗

針原 克宜

藤木 林ゆ代

木村 崇

テーマ 埋め立て地利用について

① テーマ設定の理由

神戸は、日本でも有数の埋め立て地（ポートアイランド）があることで知られている。だからそこで行われている色々な問題点、これからの計画などを知りた。また、埋め立て地ということ、阪神大震災の被害をいかに住民の方たちがどのような不安を抱いているのかも聞いてみたいと思った。

② 研究のねらい

埋め立て地についてこの問題点や利用法の1つとして貿易を調べる。又、阪神大震災の被害を受けたことで、これから神戸の埋め立て地がどう変わっていくのかも知りたい。

③ 研究の調査内容

① 埋め立ての方法、メリット・デメリット

↳ 神戸市役所港湾整備局計画第一係

② 埋め立て地のメリット・デメリット

↳ 神戸市役所港湾整備局計画第一係

③ ポートアイランドでの貿易の内容

- ・貿易相手国
- ・輸出入品
- ・入港船舶数
- ・取扱貨物数量

↳ 神戸市役所港湾整備局企画振興課

④ 貿易の歴史について

↳ 神戸市役所港湾整備局企画振興課

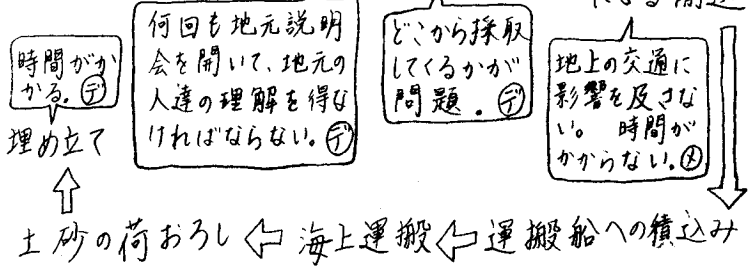
⑤ 阪神大震災での影響

⑥ これからの埋め立て地利用の予定

↳ 神戸市役所港湾整備局第一係

◎ 調査結果

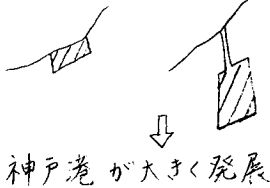
① 埋め立て地建設決定 → 土砂採取 → 地下コンベヤによる輸送



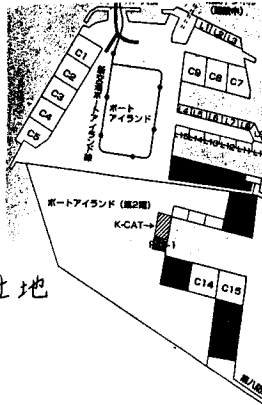
『山、海にいく』をスローガンとした工事

② 港…大きな船が入るのが魅力

↑
メ
リ
ッ
ト
↓
沖へ出る程水深が深くなる → より大きな船が入る
↓
埋め立て地よりも人工島(ポートアイランド)の方が都合が良い



神戸港が大きく発展



ポートアイランド
コンテナバース

バース名	水深	長さ	幅	ターミナル面積
Port Name	Water Depth	Length	Width	Terminal Area
PC1	12m	300m	102.500m	
PC2	12m	300m	102.500m	
PC3	12m	300m	102.500m	
PC4	12m	300m	102.500m	
PC5	12m	250m	91.200m	
PC7	12m	300m	97.300m	
PC8	12m	300m	102.500m	
PC9	12m	300m	90.500m	
P1-D	12m	300m	78.250m	
PC11	12m	300m	95.700m	
PC12	12m	300m	90.500m	

↑
メ
リ
ッ
ト
↓
地震などの時、普通の土地よりも被害が大きい。

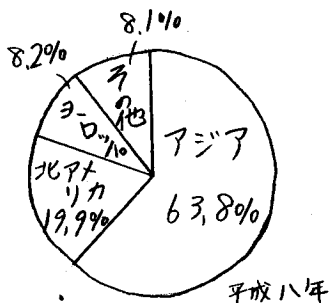
→ ⑤を参照

- ・多額の資金が必要
- ・地元の人達などとの間に問題が生じる。(建設の時)

③

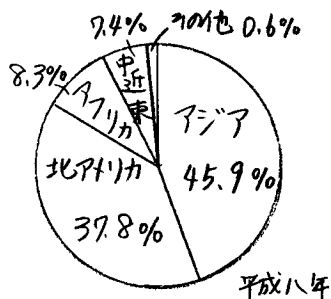
・貿易相手国

〈輸出〉



アジアが半分以上を占めている。アジアでは主に台湾、シンガポール、中国など。北アメリカはアメリカ合衆国が多い。

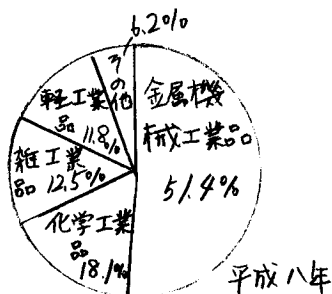
〈輸入〉



アジア、北アメリカがほとんどを占めている。アジアは主に中国、台湾、香港など、北アメリカは、アメリカ合衆国、カナダなどが多い。

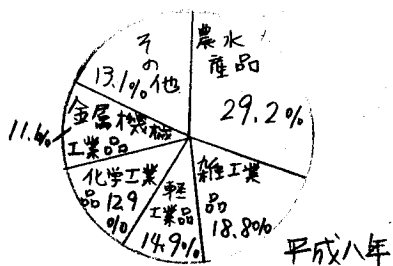
・輸出入品

〈輸出〉



日本全体の貿易(加工貿易)とはちがひ、輸出入とも製品が多い。

〈輸入〉



・入港船舶数

年次	総入港数		外航船				内航船	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	717コンテナ船 隻数	717コンテナ船 総トン数	隻数	総トン数
平成3年	91,676	302,510,394	11,792	163,454,643	4,997	109,008,087	80,284	135,075,951
平成4年	83,551	296,806,441	11,071	165,701,800	4,442	109,652,099	72,480	131,104,641
平成5年	83,359	302,403,176	10,935	166,577,311	4,336	106,818,971	72,424	135,825,865
平成6年	87,663	303,428,427	10,836	164,884,336	4,653	112,578,486	76,827	138,578,061
平成7年	60,975	173,310,911	6,833	96,609,091	2,856	62,007,492	63,142	76,701,820

激減

・取扱貨物数量

年次	総取扱量	外貿貨物							内貿貨物 計
		計	輸出	輸入	コンテナ貨物				
					計	輸出	輸入	トランシューター	
平成3年	174,100,929	53,726,710	26,883,754	26,842,956	79,012,626	20,866,099	18,146,547	5,065,107	120,378,219
平成4年	169,645,448	52,458,924	26,750,695	25,708,229	78,688,308	20,828,150	17,860,158	5,166,095	117,186,534
平成5年	168,693,868	53,509,855	25,700,474	27,567,381	79,843,759	20,488,691	19,755,066	5,108,616	115,186,013
平成6年	170,970,369	55,228,036	25,859,947	29,768,089	42,183,974	20,800,461	21,883,513	5,811,371	115,742,333
平成7年	91,385,724	29,251,506	13,880,625	15,870,881	21,001,762	9,809,079	11,192,283	2,476,479	62,134,218

激減

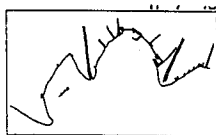
・姉妹都市

海外8都市と姉妹都市提携，海外3港湾と姉妹港

提携を結んでいる。

④ 幕末の1853年にペリーは4隻の米国軍艦を率いて浦賀に来航し、開国を迫った。翌1854年、再び来航したペリーとの間に日米和親条約が結ばれた。これにより諸外国も国交を求め、1858年日米修好通商条約を交わすに、英国、仏国なども次々に同様の条約を締結することとなり、我が国は開国した。幕府は兵庫の津は都太近いという理由で、開国と同時に開港を認めず、大がついに1868年1月1日、兵庫の津は「兵庫港」として開港！近代港湾への第一歩を踏み出したのである。そして海外との貿易がはじまり、兵庫港は整備のため、壘上所(税関)、波上場の改修、倉庫などを建設した。

神戸港の変遷



明治5年(1872年)



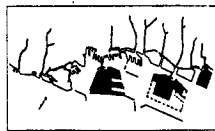
昭和34年(1899年)



大正12年(1923年)



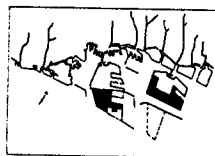
昭和42年(1967年)



昭和58年(1983年)



昭和15年(1940年)



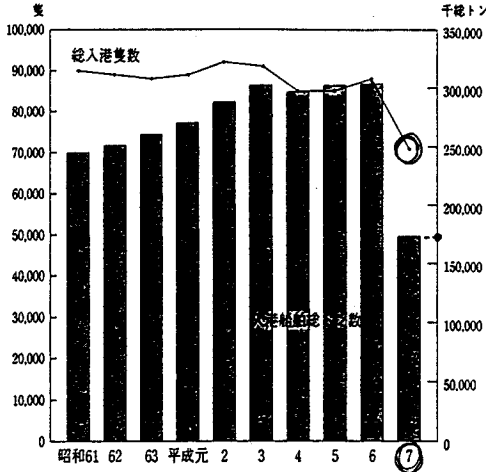
現在の神戸港

⑤ <貿易に関する影響>

平成7年の神戸港の港勢は、震災の影響で2月・3月に激減したことが響いた。

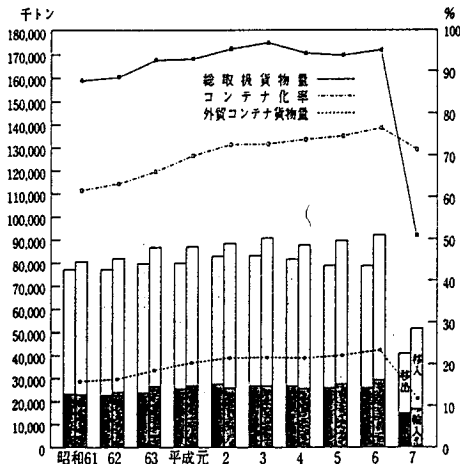
例

図-1 入港船舶年次推移



←
総入港船舶数は前年の80%、
総トン数は前年の57.1%に留まった。

図-2 総取扱貨物量年次推移



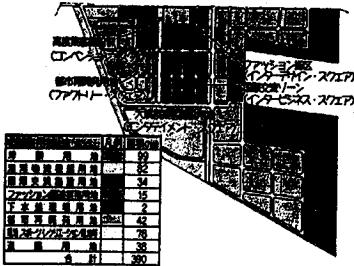
←
取扱貨物量は前年の53.6%、
外貨コンテナ貨物量は輸出が前年の47.8%、輸入が前年の52.3%であった。

しかし、急ピツクで復旧工事が進められ、7年の12月には、総入港船舶数は前年同月の76.6%、総取扱貨物量は68.9%にまで回復した。

<交通網(ポトライナー)に関する影響>

ポータ일랜드のポトライナーには見に目は被害がなかった。しかし、場所によっては乗客の差ができるなど、被害を受けた所もあった。

⑥ ポータ일랜드2期の予定



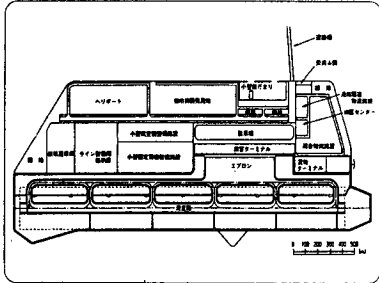
スキャン地区や国際交流地区など使いみちはたくさんある。他にもあまった土地を業者の人に買ってもらったり、貸してあげたりもする。住宅用地はつくらない。岸壁は地震対策でできるとつくられている。

公園や都市機能用地として多くつくっていく。平成10年に第2期地割を立て完了。5200億円というはくたいのお金をつくられている。

神戸空港の予定

ポータ일랜드の南約3kmのところに平成16年開港予定
国内線が主

環境やくらしを考えると、市民のくらしが向上する。そして都市魅力がまわり市民にとって便利な都市型空港です。



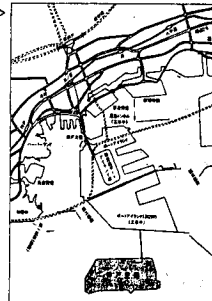
神戸空港の施設

神戸空港は近畿圏全体の発展に大きく貢献するプロジェクトとして計画されている。

●神戸空港のプロフィール

- 目的 (1)神戸都市圏における航空利用者の利便を図る。
(2)兵庫県域航空システムの拠点とする。
- 空港の母体 東三宮空港(地方公共団体が設置し、管理する空港)
- 設置管理主体 神戸市
- 位置 港ポートアイランド沖約3km(三宮から約8km)
- 空港島面積 272ha
- 滑走路 2,500m1本(国内線の大形ジェット機の離着陸が可能)
- 開港予定 平成16年度

<位置図>



◎ 考察・感想

- ・今まで抽象的にしか知らなかったに「ポートアイランド」の、具体的な問題や阪神大震災での被害を知ることができて良かった。また、「ポートアイランド」がこれからどんどん発展していく中で、まだまだ「やらなくてはいけない事」が残っているという事も分かった。〈五十嵐〉
- ・埋め立て地を多く地震に強くしたり、「ポートアイランド」第二期や神戸空港をつくったりして、埋め立て地の利用をさかんに行っていると思う。関心がありました頃場についてもよくわかって良かった。〈藤木〉
- ・神戸にも埋め立て地の空港をつくるという話があったことがびっくりした。神戸にも空港ができたら、島と交通の便がよくなるのいいと思った。〈木村〉
- ・市役所の人がかきとめていかに説明していたかとてもよくなりました。また、「ポートアイランド」第二期や六甲アイランド南側に神戸空港さまがまた埋め立て地が建設されていることがわかり、神戸は近未来の近代都市だと思った。〈針原〉

◎ 今後の課題

- ・神戸港のことだけでなく、他の港についても調べ、神戸港と比べてみたい。
- ・埋め立て地についても、他の埋め立て地（六甲アイランドやハーバーランド）についても調べ、「ポートアイランド」と比べてみたい。

END

<1> 研究テーマ

商業を中心とした 一般と大企業の復興の様子

2年C組 11班 中村文美 白崎祐子 朝倉大貴



<2> テーマ設定の理由

商業の活性化が意味するもの。それは、やはり復興が順調であるということだと思う。こういう点で、復興の度合も規模の大きい大企業と、住民が一体となっている商店街では大きな違いがあると感じ、これからの消費者に代える商業や危機管理体制も含めて考えていきたいと思った。又、同業者との関わりについても調べたいと思ったから。

<3> 研究のねらい・調査内容

- ・復興までの道のり
 - ・損害の規模
 - ・これからの防災
 - ・同業者との交わり
 - ・調査内容
 - ・地震直後の対応
- 問題点

また、これらのことを通して、神戸に住む人々の復興に対する思いを感じ取る

<4> 研究・調査場所

菅原市場	そごう 神戸店
神戸市長田区菅原通4-5-1	神戸市中央区小野柄通8-1-8
共同組合理事長 清水政夫様	宣伝課 係長
と、共同組合の皆様	瀬藤 由紀子様

《立ち寄りだけ》

大丸 神戸店 神戸市中央区明石町40

(平成9年3月2日に復興オープン。被害が大きかった百貨店の1つ)

<5> 移り変わり

そごう神戸店

1899年6月 十合(そごう)合名会社
(明治32) 神戸支店を開設
(今の神戸駅北口)

1901年4月 店舗を移転拡大
(明治34) (元町5丁目)
以後 1911年, 1914年
1920年に拡張

1919年4月 そごうは株式会社を
(大正8) 設立。

1933年10月 店舗を三ノ宮(現在地)
(昭和8) に移転。

1932年7月 阪神大水害により
(昭和7.13) 湯水

1945年3月 神戸に空襲
(昭和20) 一そごうは火災の中心部
にありながら焼失を免れる

進駐軍に二音のフロアを
供出。

1956年10月 神戸店増築完成
(昭和31) 一阪神大震災による被害
が最も大きく、今回撤去した部分。

1966年3月 再度増築
(昭和41)

1969年2月 再度増築
(昭和44) 本館完成

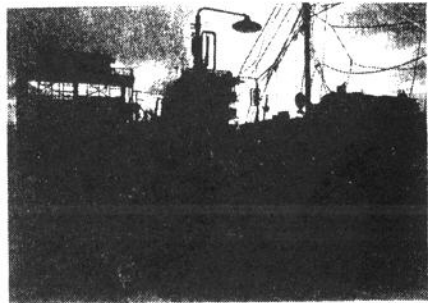
1971年 年間売上が
(昭和46) 神戸一に

菅原市場

神戸市(最も古い商店街)の1つ。
現在は板店舗(ツレバコ)で営業中。
あいだみつをさんという方の詩(ポウ
ンティアを通じて頂いたもの)が、1つ1つの
商店の看板の横に掛けられている。

1920年 菅原市場開設
(大正9)

42店舗で営業



▲ H.7.1.18 神戸市長田区
焼け野原になった街

1965年
(昭和40) 地域一番店として、多くの顧客と
支援を受ける。

↑ 昭
和
40

<Fに続く>

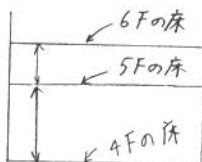
〈6〉 石研究・調査結果

菅原市場とそごう神戸店の2つを比較しながら考える。

そごう 神戸店

① 被害

昭和31年に増築した部分が
最も大きい被害を受けた。



5Fが押しつぶされた。

建築物、商品の破損(主に食器や洋服)、
借りていたもの(コピー機)の破損は
総額110億円にも及んだ。

調査の結果、昭和31年建築部分
以外は、被害はひどくはなかったため、
補強ですませ、昭和31年建築部分
のみ取壊した。

② 震災直後の反応(安否確認等)

地下の被害は小さかったため、
その日に地下に対策本部を設置。

しかし、地下は狭いため、

大阪そごう } の一部に
加古川そごう } 神戸事務所を
西神そごう } 設ける。

- 安否確認の仕方
- ・被害の少ない所 ⇒ 訪問して確認
に任じる
- ・電話のつながらない所
⇒ 全国のそごう組合の人
が会いに行く

菅原 市場

大正時代からあるため、柱と柱にはり
かぎってあったので、倒壊はほめかた。

しかし、東300メートルで火の手が上がり、
頼りにしていた消火栓からも水は出
ず、何もできないままに全焼。



▲ 平成7年5月25日
におこなわれた復興祭

テントの中で生活していた。全員
無事であることがすぐに分かった。
余震が何度もおこり、あたりは真っ暗
だったので、とにかく明かりをつける
ことが最優先だった。

1974年 11月
(昭和49) 2号館新館完成

1985年 6月
(昭和60) 新館増築オープン

1989年 9月
(平成元年) 加古川2号オープン

1990年
(平成2) 西神2号オープン
(県下トリアングル体制)

1995年 1月17日
(平成7)

阪神・淡路大震災が発生

昭和31年に増築した部分が
倒壊。

2月 近隣住民のための
食料品・生活必需品
の販売を始める。
(400m²)

3月 「さんちか」の営業再開
に合わせ、地下入口に
特設売場を開設。
神戸のメーカーを中心
とした食料品を販売。
(130m²)

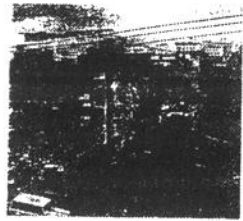
4月16日 新館全フロアと本館
地階の一部「2号WING」
で営業再開。
(17000m²)

9月1日 「2号WING」
オープン

10月1日 「2号味の郷」オープン

1996年
(平成8) 4月28日 午前10時
「新生2号神戸店」
全館復興オープン
(41000m²)

年、代
↓
1975年
(昭和50)



▲ 震災直後の 菅原市場

1994年3月 37店舗
(平成6)

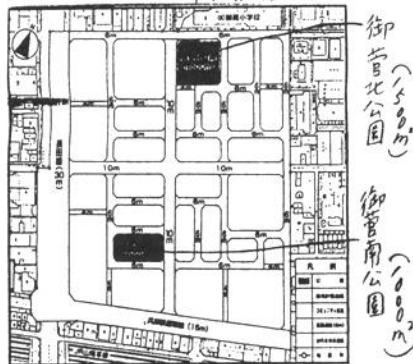
建物の倒壊はまめかわれたが、
火災により焼失。

協同組合の設立

3月 神戸市が御堂東地区の
区画整理事業を決定。

5月25日 復興祭(仮店舗内)

1996年 4月 まちづくり協議会
(平成8) が「まちづくり提案」を
市に提出。



▲ まちづくりの計画図
防災面、安全面と考えられて、
子供から御年寄りまで、暮らやすくしている。

会についていない人は
避難所にも出向いて確認。

社員は全員無事
しかし、御家族の方には
とくなくなつた方もいらした。

③ 一部再開(H7.4.16)の時の状態

面積は $\frac{1}{3}$ になった。
従業員は3日仕事4日自宅待機
といった風に、準備を進めた。
新しいお店づくりも同時に始め
る。

④ 一部再開時の問題点

4/6 から2ヶ月は、電車(阪神)が
使えず、JRのみだつたので、阪神を
使っていたお客さんが来れなかつた。
道も困難しており、来にくかつた。

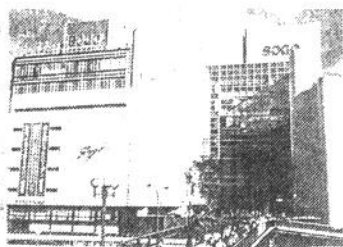
⑤ お客様に対して

お客様から預っていた商品
↓ 外商係が
確認できしだい、返す・代わり・外債
の対応

⑥ 他の百貨店再開の影響

悪い影響はない。他の百貨店が再開する
ことは、神戸の町が復興することである。復興して
行かなければ、大阪などにお客をとられてしま
うので、他の百貨店再開はうれしい。

平成8年4月28日に
オープンした
ソニービル



③ 市場の再開 (H7.5.25)

「街に明りを」

資金 { 市場... 高麗産資金
個人... 神戸信用保障協会

お客... 再開当日はたくさん来てくれたが、
交通の便が悪くなどの問題点及び、
他の商店街への客の移動等、
1年を過ぎて減ってきている。

④ 他の組合とのつながり

お互いに助け合つて取り組んでいる

⑤ 「フェニックス 菅原市場」の看板

寛さんのロケで使ったものを置いて行く、
もらひ、それに手を加えて作った。



▲ 菅原市場を裏からうつす。
(裏は馬駐車場に付いている)

⑦ 今年度の年り上げ

- H.5 ... 約 1.213 億円
 H.6 ... 約 1.042 億円
 (但し 1月17日より震災のため休業)
 H.8 ... 売上目標 約 900 億円
 2 3月14日現在、すでに目標達成

⑧ 防災

現在 ... 避難階段の設置 } 停電がこれなので、
 耐震壁の設置 } このことも含め、
 柱の数を増やす } 機械と人の両方が
 管理している。
 (せまくなたと感じるというので、
 休憩所を利用したり、柱にベント
 をして模様をしたり、工夫している)

⑨ お客様に対して II

- 気持ちの良いサービス ← 震災後、以前より
 ↑ サービスが良くなった
 基本コンセプト と言われる。
 「快適空間」
- e2). S31に建設した本館部分の一部を、
 復旧ではなく、公開広場として利用。
 市民のやすらぎと憩いの場へ。
- e2). 以前打白一色だった外壁の一部をガラス
 張りとし、内部に昼は自然光を取り入れ、
 夜はライトアップすることで住民の人達に
 も役立つ。
- e2). 広場には大型のからくり時計を設置。
 毎正時に鐘の音と共に音楽がなり、
 世界各地の民族衣装を着けた人形が登場

⑥ 売り上げ

震災により、壊失した機械等の影響や、
 小規模化による従業員数の減少
 がおこる。 「リストラ」
 37店あったのか、震災後 22店に減った。
 のは、高齢者の方か、店をやめられたため。

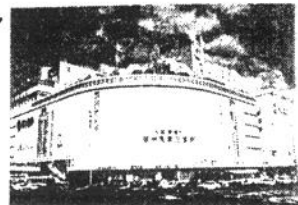
⑦ 防災

自動警報装置・自動消火装置
 震災時これらはついていたが、
 水が出なかった。

⑧ これからの課題、活性化事業

借入金の返さずかさした問題
 <活性化事業>
 土地区画整理事業の対象
 ↓
 現在、お祭りしている...
 仮設店舗はあくまでも「仮」の状態
 なので、H9中には本格復興の為の
 事業計画を明らかにする必要があります
 これから、これらの問題を一つ一つ
 解決していく必要がある。

震災
 前の
 そう
 神戶
 店

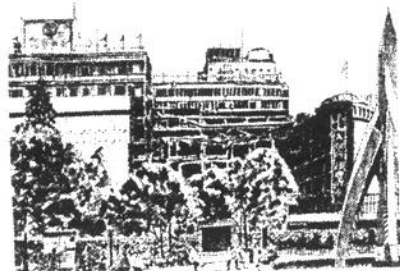


e). 店内施設

トイレ ... 車椅子で入れるものを増設
ベビーシート内蔵ブースを備える

壁 ... 明るくイメージ

その他、エレベーターを増やすなど、
いままたどりできる空間を広く



▲震災直後のそごう神戸店

⑩ 復興と神戸に対する想い

「この街で皆様と共に」がテーマ

従業員は「お客様を今まで以上に大切に」と
いう想いでいる。

立地条件的に、そごう神戸店は駅前であり、
ブリッジ・地下道で駅と直結している為、
神戸の顔ともいべき存在の一つなので、
1日早く再開しなればと思っていた。

⑨ 大切にしたいこと

「お客さんとの心のつながり」を大切にし、「小売市場として」できること、
小売市場にしかできないことをやってい
きたい。

互いに教え合い、助け合っていく。1
人との心のつながりが大切だと
考えている

<7> まとめ・考察

- ・ 資金面 — 菅原市場では、高度化資金（震災復興の）を活用し
（復興の際） たため、返済をするようになると大変である。

1企業であれば、その中の少数で合意すればよいが、
菅原市場のように色々なお店がいくつもあると、経営方
針にも差があり、1つの商店が不振になると会長などを
中心に相談にのる。（これはメリットでもある）

- ・ 立地条件 — そごう — JR三宮駅 から 直通。また、阪神電車の
三宮駅も中にあり、交通の便もよく、震災前は、多くの
企業が立ちならび、人という条件も満たしていた。

菅原市場 — JR 新長田駅と兵庫駅との中間にあり、交通の便はよくない。大型店の進出もあり、地域により人口流出もおきている。

ここからの
・問題点

そこう — 震災による神戸の人口の減少、企業の大阪への移転により、離れていったお客さんを呼ぶには、復興が重要。

菅原市場 — 区画整理後の菅原市場の経営などの問題。火口の減少によるお客さんの減少。

・存在

そこう — 神戸の中心三宮のシンボル、且つ神戸の方々の心の支え。ハート T-1。想いが生まれる所。

菅原市場 — 地域の人々のなじみが深い。いつも、助け合う仲間。

2つは全く性質が異なっているが、お互いに自分達のできる最も重要なことを果たしている気がした。特に震災から2年を経ておそらく復興にいさづまりが出てくるかもしれないが、商業による街の活性化が、街のにぎわいと明るさにつながると思う。

< 8 > 感想

全く対称的な2つを比べることで、神戸の街のもついくつかの顔が見えた気がした。百貨店は暮らしのパートナーとして、相手に不快感を与えないために、ゆとりや憩いという空間にも気を配り、商店街では、ここからの街づくりという問題にも取り組んでいる。傷ついた心を少しでも安らぎを与え、活力を見い出そうとする人々に勇気を与える場が本当に求められ、でかくこの場の存在は変わっていく。

まだまだ震災前、そしてそれ以上になるには多くの時間が必要になると思うが、本当に震災前がなくなったときに、人々の中でお金に頼った商業による復興だけでなく、人々の気持ちを考えた思いやりの商業による復興もあったことが仮定は、と思う。